

2024年

東京都のHIV感染者・AIDS患者・梅毒患者の
発生動向等及び検査・相談事業の実績

HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・東京都のHIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は289件であり、前年より減少した。内訳は、HIV感染者227件、AIDS患者62件で、HIV感染者は前年より減少したが、AIDS患者は増加した(図1-2)。新規報告数に占めるAIDS患者の割合は21.5%であった。
- ・全国に占める東京都のHIV感染者新規報告数の割合は、HIV感染者が34.3%(図1-4)、AIDS患者が18.7%(図1-5)であった。この30年間、HIV感染者の割合に大きな変化はないが、AIDS患者の割合は約30%から約20%に減少している。
- ・推定感染地別新規報告数年次推移は、国内感染は226件で前年より18件減少、国外感染は10件で2021年以降20件を下回っている(図1-6)。
- ・推定感染経路別新規報告数年次推移では、同性間性的接触は前年より減少し200件だったが、異性間性的接触は前年より8件増加し31件であった(図1-7)。
- ・推定感染経路別新規報告数は、同性間性的接触の件数が最も大きく、HIV感染者では168件(74.0%)(図1-8)、AIDS患者では32件(51.6%)(図1-12)であった。
- ・年齢階級別では、HIV感染者では20歳代91件(40.1%)と30歳代74件(32.6%)と40歳代41件(18.1%)が多く(図1-10)、AIDS患者では30歳代20件(32.3%)が最も多く、50歳代17件(27.4%)が続いた。また、60歳以上で4件(6.5%)のAIDS患者の報告もあった(図1-14)。
- ・国籍別及び性別では、HIV感染者とAIDS患者をあわせた新規報告数は、日本国籍男性が231件(79.9%)と最も多かった。外国籍男性は46件(15.9%)であった(図1-16)。
- ・新規AIDS患者報告数のうち、ニューモシスティス肺炎の発症をきっかけにAIDSと診断されたAIDS患者が36件と最も多かった(図1-23)。

梅毒患者の発生動向

- ・東京都の梅毒患者の報告数は3,760件で、前年より59件増加し、4年連続で増加している(図3-1)。
- ・男女別報告数は、男性は20~50歳代に多く、女性は20歳代に多い(図3-3)。
- ・先天梅毒報告数は、前年より4件減少し5件だった。妊娠合併例が2022年から急増している(図3-7)。

検査・相談・療養体制の実績

- ・都内のHIV/エイズ電話相談件数は10,703件で前年より407件減少した(図2-1)。
- ・「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談件数は8,099件で(図2-1)、性別は男性が84.2%(図2-2)、年齢別は50歳以上が40.3%と最も多かった(図2-3)。相談内容は、感染不安や感染経路に関するものが多かった(図2-4)。
- ・2024年のHIV検査件数は26,377件で、前年から2,684件増加し(図2-5)、この10年間で最も検査数が多かったコロナ禍前の2019年の82.4%まで回復した。
- ・月別のHIV検査件数はHIV検査・相談月間の6月、エイズ予防月間の11月~12月に多かった(図2-6)。
- ・HIV検査における陽性率は、前年より0.15ポイント減少し0.31%であった。陽性数は新宿東口検査・相談室が前年より28件減少し49件、全体は前年より28件減少し81件であった(図2-7)。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、2024年は11,006件で、前年より370件増加した(図2-11)。
- ・2024年の梅毒検査件数は26,106件で、前年から2,886件増加し(図4-1)、この10年間で最も検査数が多かったコロナ禍前の2019年の87.8%まで回復した。
- ・梅毒検査における陽性率は、前年より0.3ポイント増加し2.8%であった。陽性数は区保健所が196件とこの10年間で過去最多を更新している。全体は前年より増加し741件となった。(図4-2)。

本「AIDS News Letter No. 187(資料編)」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、2024年に報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等におけるHIV/エイズ、梅毒に関する相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。パーセンテージは、小数点第二位を四捨五入している。

図表中では、東京都新宿東口検査・相談室(旧東京都南新宿検査・相談室)を新宿東口、東京都多摩地域検査・相談室を多摩地域と記載する。また、保健所政令市である八王子市(2007年4月設置)、町田市(2011年4月設置)は都保健所に含めて計上する。

なお、2020年~2023年については、新型コロナウイルス感染症の影響により検査縮小や一時休止等がある。

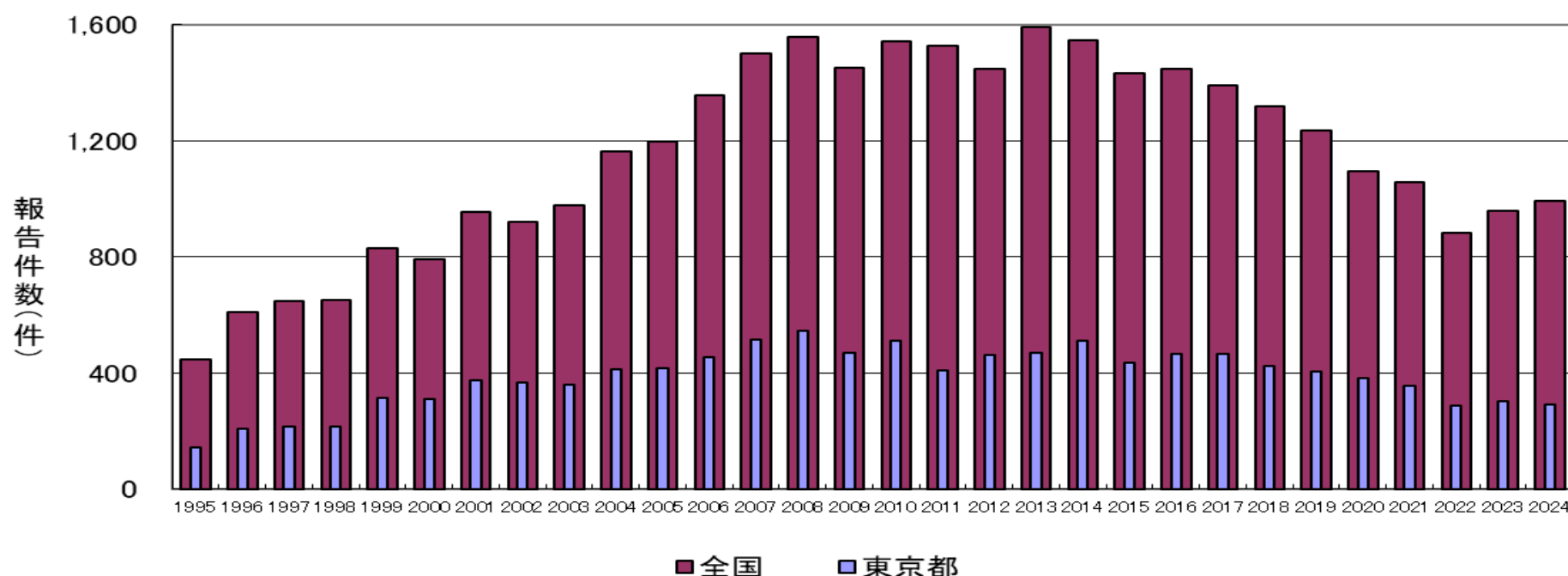
I 東京都のHIV感染者及びAIDS患者の発生動向			
[東京都と全国の比較]			
P3	1-1	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都と全国の新規報告数年次推移
	1-2	HIV感染者とAIDS患者	東京都のHIV感染者とAIDS患者新規報告数年次推移
	1-3	HIV感染者とAIDS患者	全国のHIV感染者とAIDS患者新規報告数年次推移
P4	1-4	HIV感染者	全国に占める東京都のHIV感染者新規報告数割合年次推移
	1-5	AIDS患者	全国に占める東京都のAIDS患者新規報告数割合年次推移
[推定感染地別報告数]			
P4	1-6	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染地別新規報告数年次推移
[推定感染経路別・年齢別報告数]			
P5	1-7	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染経路別新規報告数年次推移
	1-8	HIV感染者	東京都のHIV感染者の推定感染経路別新規報告数年次推移
	1-9	HIV感染者	東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別新規報告数年次推移
P6	1-10	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢階級別新規報告数年次推移
	1-11	HIV感染者	東京都の新規HIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告割合（2024年）
	1-12	AIDS患者	東京都のAIDS患者の推定感染経路別新規報告数年次推移
P7	1-13	AIDS患者	東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別新規報告数年次推移
	1-14	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢階級別新規報告数年次推移
	1-15	AIDS患者	東京都の新規AIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告割合（2024年）
[国籍別・性別報告数]			
P8	1-16	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の国籍別・性別新規報告数年次推移
	1-17	HIV感染者	東京都のHIV感染者の国籍別・性別新規報告数年次推移
	1-18	AIDS患者	東京都のAIDS患者の国籍別・性別新規報告数年次推移
[CD4値]			
P9	1-19	HIV感染者	東京都の新規HIV感染者のCD4値の年次推移
	1-20	AIDS患者	東京都の新規AIDS患者のCD4値の年次推移
P10	1-21	HIV感染者	東京都の新規HIV感染者の年代別CD4値（2024年）
	1-22	AIDS患者	東京都の新規AIDS患者の年代別CD4値（2024年）
[エイズ指標疾患の割合]			
P11	1-23	AIDS患者	東京都の新規AIDS患者の指標疾患罹患数（2024年）
II 東京都のHIV/エイズに関する検査・相談数、療養体制			
[電話相談]			
P12	2-1	電話相談	HIV/エイズに関する電話相談件数年次推移
	2-2	電話相談	東京都HIV/エイズ電話相談における相談者の性別（2024年）
	2-3	電話相談	東京都HIV/エイズ電話相談における相談者の年齢（2024年）
	2-4	電話相談	東京都HIV/エイズ電話相談における相談内容（2024年）
[HIV検査]			
P13	2-5	HIV検査	HIV検査件数年次推移
	2-6	HIV検査	月別HIV検査件数
	2-7	HIV検査	HIV検査における陽性件数・陽性率年次推移
P14	2-8	HIV検査	年代別HIV検査件数の年次推移（全体・男性・女性）
P15	2-9	HIV検査	年代別HIV検査陽性者数の年次推移
[医療機関]			
P15	2-10	医療機関	東京都の新規HIV感染者報告の届出別割合
[身体障害者手帳]			
P15	2-11	身体障害者手帳	東京都の身体障害者手帳（免疫機能障害）交付数年次推移とHIV感染者、AIDS患者累積報告数
P16	2-12	身体障害者手帳	東京都の身体障害者手帳（免疫機能障害）年代別、等級別交付数（2024年）
III 東京都の梅毒患者の発生動向			
P17	3-1	梅毒患者	梅毒患者報告数の年次推移
	3-2	梅毒患者	梅毒患者推定感染経路別報告数の年次推移
	3-3	梅毒患者	梅毒患者性別・年齢別報告数の年次推移
P18	3-4	梅毒患者	梅毒患者性別風俗産業（直近6か月）従事歴（報告件数・割合）
P19	3-5	梅毒患者	梅毒患者性別風俗産業（直近6か月）利用歴（報告件数・割合）
	3-6	梅毒患者	梅毒の病型別患者報告数の年次推移
P20	3-7	梅毒患者	女性の梅毒患者報告数と先天梅毒・妊娠合併例報告数の年次推移
IV 東京都の梅毒検査数			
P21	4-1	梅毒検査	梅毒検査件数年次推移
	4-2	梅毒検査	梅毒検査における陽性件数・陽性率年次推移
V 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数			
P22	世界のHIV/AIDS流行状況2024年末現在（UNAIDS/WHO）		
	日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2024年末現在（厚生労働省）		

I 東京都のHIV感染者及びAIDS患者の発生動向

[東京都と全国の比較]

(HIV感染者とAIDS患者の総計)

1-1 東京都と全国の新規報告数 年次推移

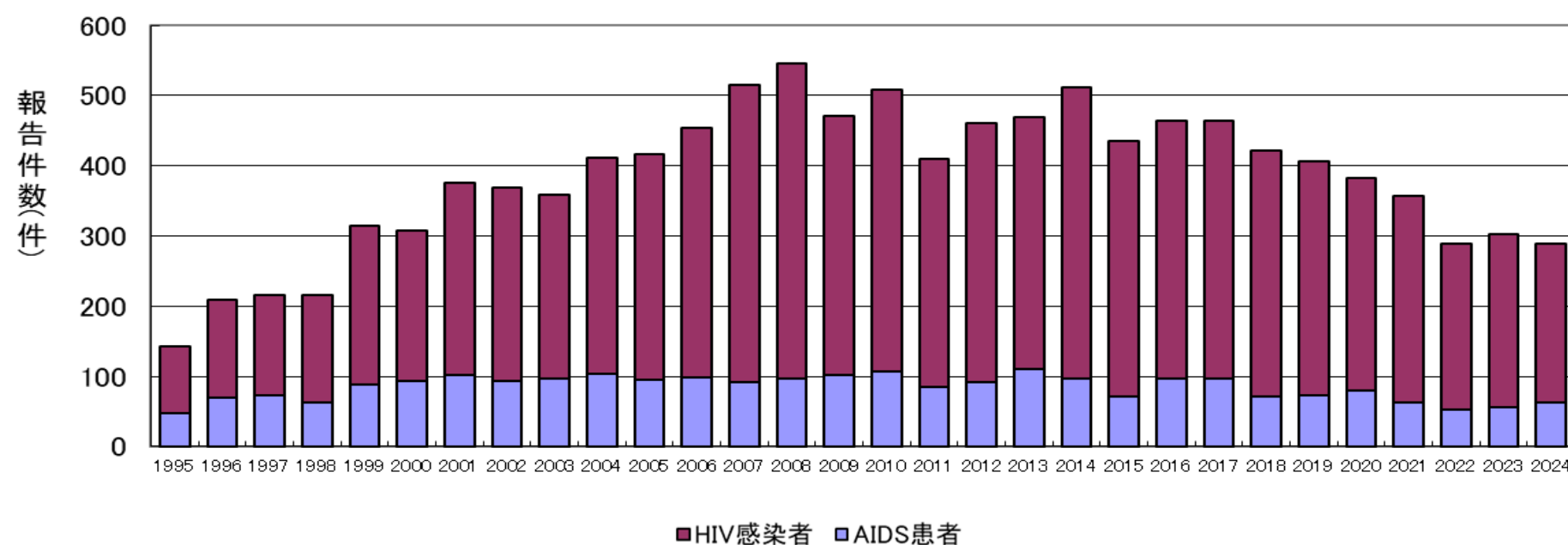


	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
全国	446	610	647	653	831	791	953	922	976	1,165	1,199	1,358	1,500	1,557	1,452	1,544	1,529	1,449	1,590	1,546	1,434	1,448	1,389	1,317	1,236	1,095	1,057	884	960	994
東京都	143	209	215	215	315	308	376	368	359	411	417	453	515	545	471	509	409	461	469	512	435	464	464	422	406	383	357	288	302	289

HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は、東京都では前年より13件減少し289件、全国では前年より34件増加し994件であった。

(HIV感染者とAIDS患者)

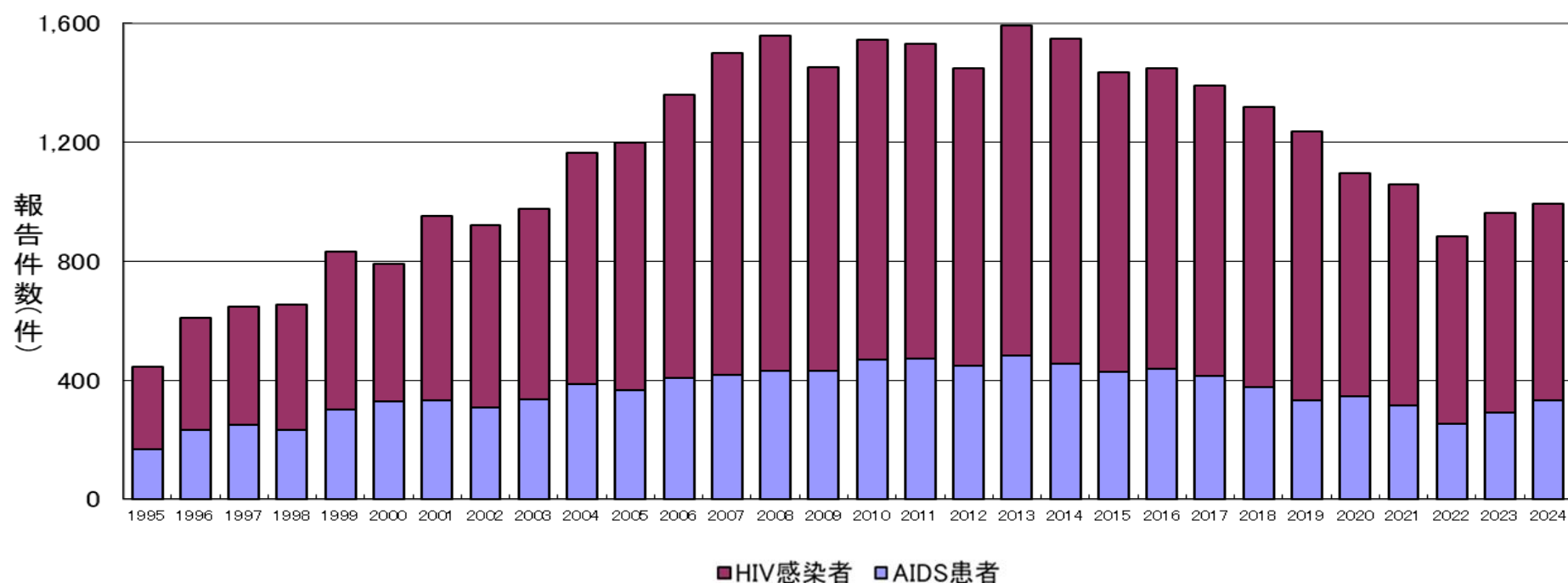
1-2 東京都のHIV感染者とAIDS患者新規報告数 年次推移



	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
HIV感染者	95	139	143	153	227	214	274	275	262	308	322	354	423	448	369	402	325	369	359	415	364	367	367	351	334	304	294	235	247	227
AIDS患者	48	70	72	62	88	94	102	93	97	103	95	99	92	97	102	107	84	92	110	97	71	97	97	71	72	79	63	53	55	62
合計	143	209	215	215	315	308	376	368	359	411	417	453	515	545	471	509	409	461	469	512	435	464	464	422	406	383	357	288	302	289

東京都におけるHIV感染者新規報告数は、前年より20件減少し227件であり、AIDS患者新規報告数は前年より7件増加し62件であった。新規報告数に占めるAIDS患者の割合は21.5%であった。

1-3 全国のHIV感染者とAIDS患者新規報告数 年次推移

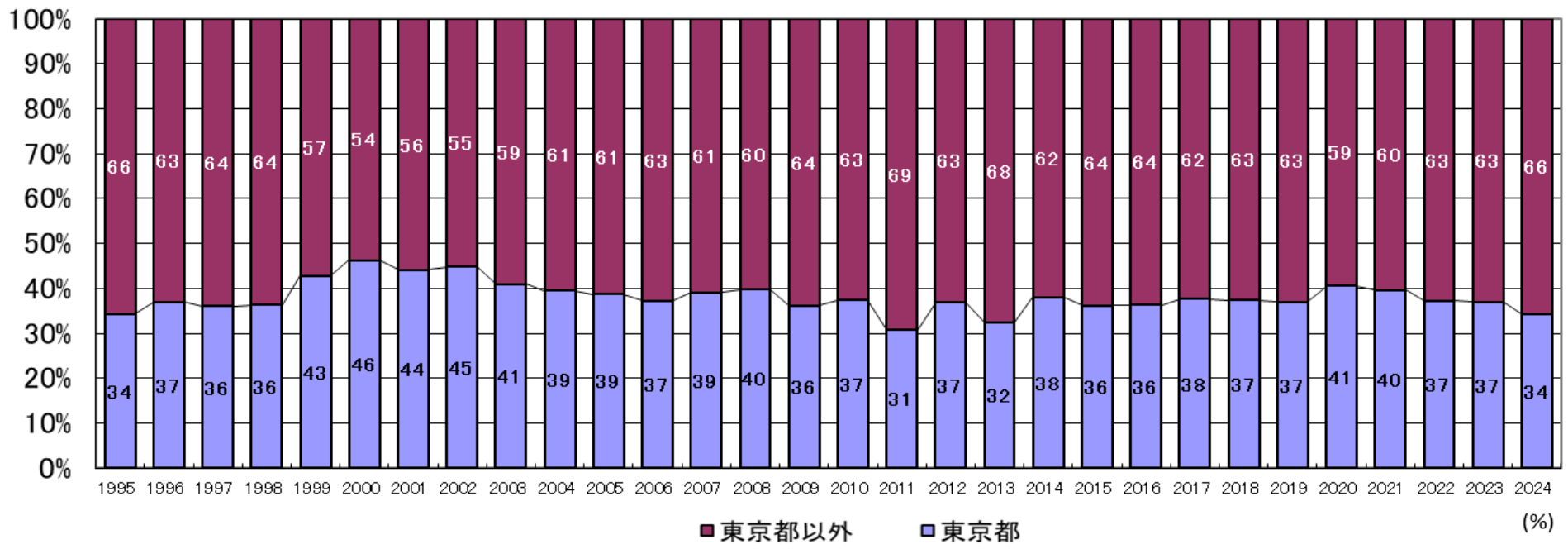


	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
HIV感染者	277	376	397	422	530	462	621	614	640	780	832	952	1082	1126	1021	1075	1056	1002	1106	1091	1006	1011	976	940	903	750	742	632	669	662
AIDS患者	169	234	250	231	301	329	332	308	336	385	367	406	418	431	431	469	473	447	484	455	428	437	413	377	333	345	315	252	291	332
合計	446	610	647	653	831	791	953	922	976	1165	1199	1358	1500	1557	1452	1544	1529	1449	1590	1546	1434	1448	1389	1317	1236	1095	1057	884	960	994

全国におけるHIV感染者新規報告数は、前年より7件減少し662件であった。AIDS患者新規報告数は前年より41件増加し332件であった。新規報告数のうち、33.4%がAIDSを発症していた。

(HIV感染者)

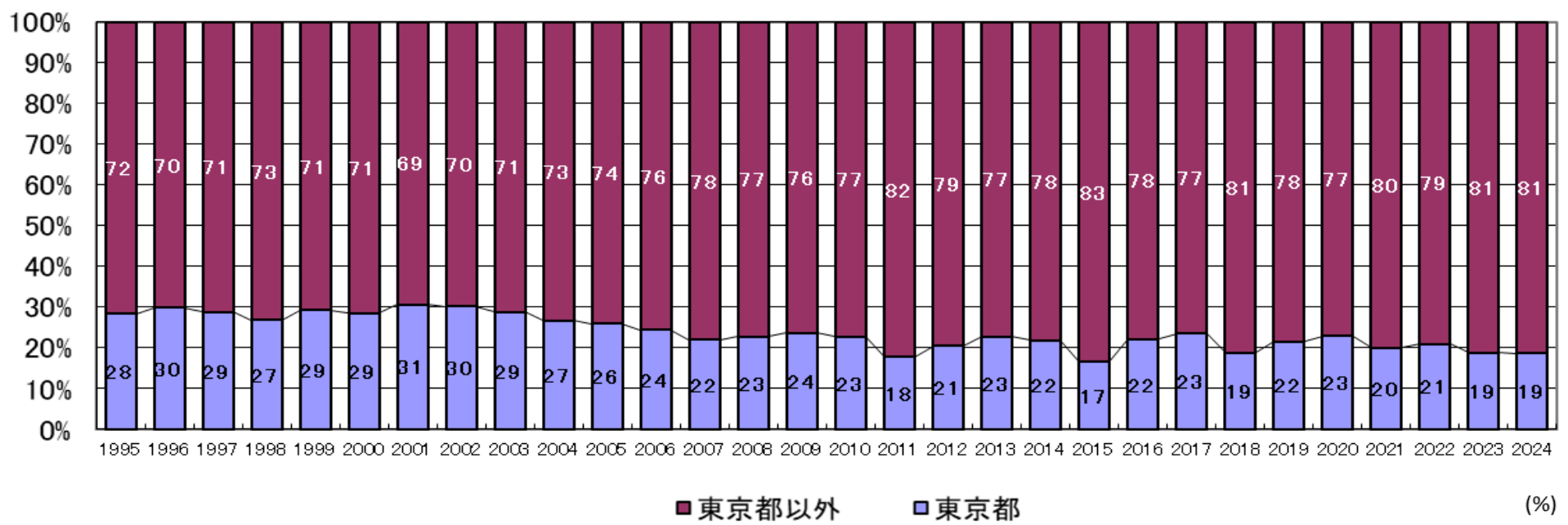
1-4
全国に占める
東京都の
HIV感染者
新規報告数
割合
年次推移



全国に占める東京都のHIV感染者新規報告数の割合は、30%から40%程度で推移している。

(AIDS患者)

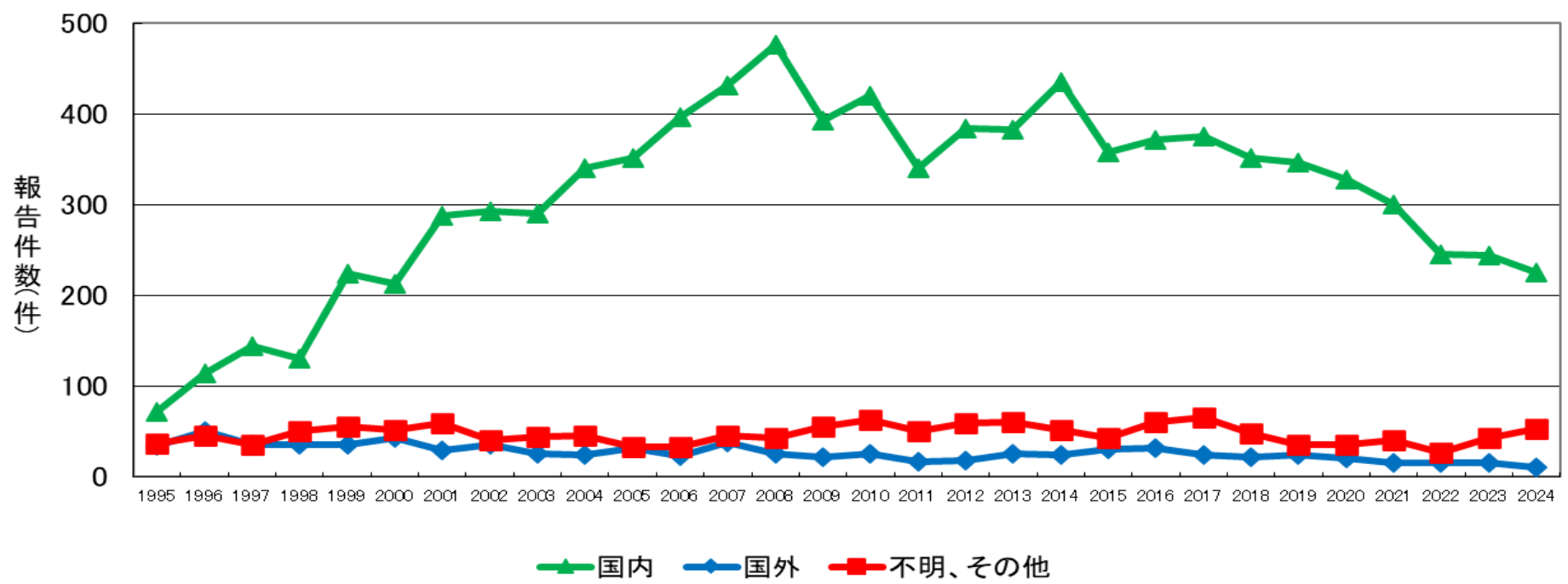
1-5
全国に占める
東京都の
AIDS患者
新規報告数
割合
年次推移



全国に占める東京都のAIDS患者新規報告数の割合は、この30年間で30%から20%程度に減少している。

[推定感染地別報告数]
(HIV感染者とAIDS患者の総計)

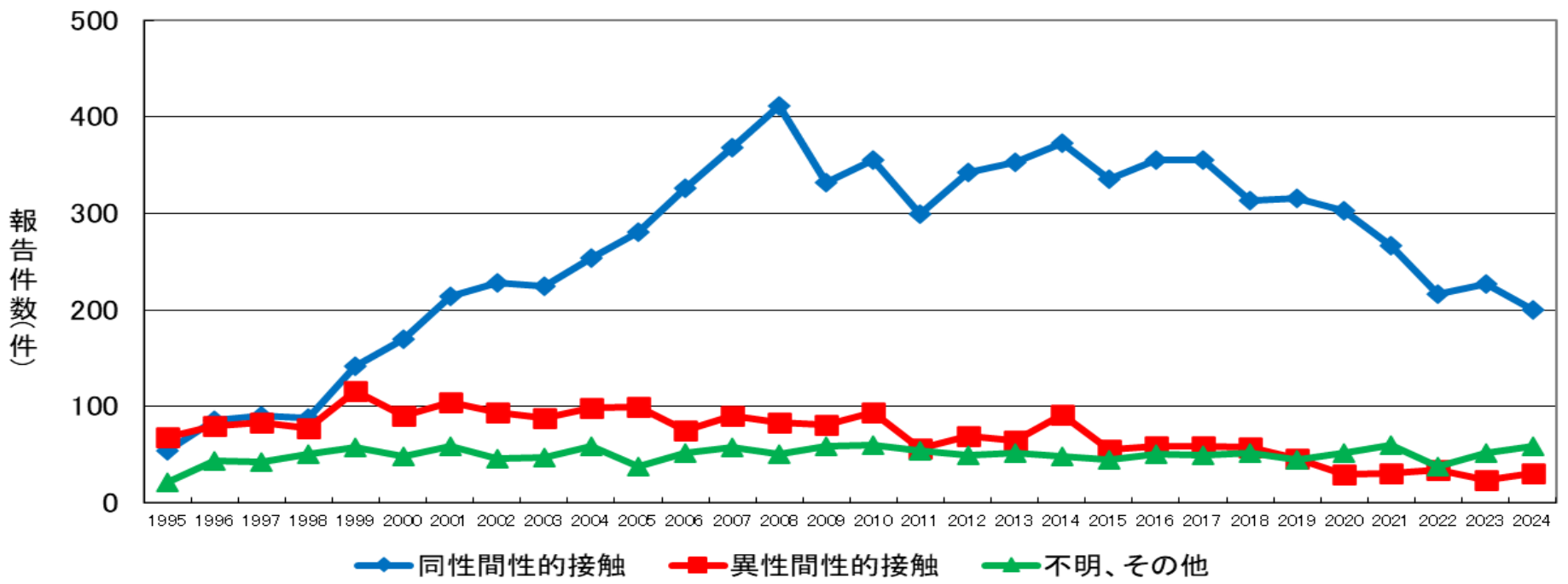
1-6
東京都の
推定感染地
別新規報告
数年次推移



	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
国内	72	114	144	130	224	213	288	293	290	341	352	397	432	477	393	420	341	384	383	436	358	372	375	352	347	328	300	245	244	226
国外	34	50	35	35	43	29	35	25	24	32	23	38	25	22	26	17	18	26	24	31	32	24	22	24	20	16	16	15	10	
不明、その他	37	45	36	50	56	52	59	40	44	46	33	33	45	43	56	63	51	59	60	52	43	60	65	48	35	35	41	27	43	53
合計	143	209	215	215	315	308	376	368	359	411	417	453	515	545	471	509	409	461	469	512	435	464	464	422	406	383	357	288	302	289

東京都の推定感染地別新規報告数について、2024年度の国内感染は18件減少し226件、国外感染は5件減少し10件と減少傾向であるが、不明、その他が10件増加している。

1-7
東京都の
推定感染経
路別
新規報告数
年次推移

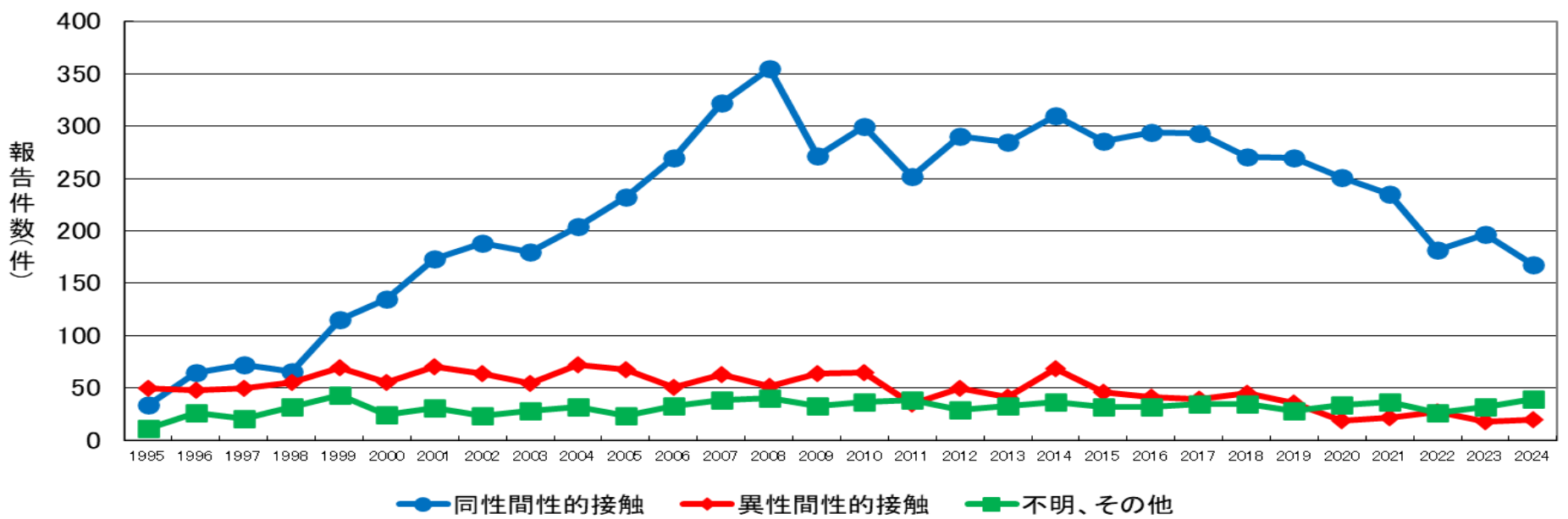


	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
同性間性的接触	54	86	90	88	142	170	214	228	224	254	281	326	368	412	332	355	299	343	353	373	336	355	356	314	316	303	267	216	227	200
異性間性的接触	68	80	83	77	116	90	104	94	88	98	99	75	90	83	81	94	56	69	64	91	55	59	59	57	46	29	30	34	23	31
不明、その他	21	43	42	50	57	48	58	46	47	59	37	52	57	50	58	60	54	49	52	48	44	50	49	51	44	51	60	38	52	58
合計	143	209	215	215	315	308	376	368	359	411	417	453	515	545	471	509	409	461	469	512	435	464	464	422	406	383	357	288	302	289

東京都の推定感染経路別新規報告数について、同性間性的接触（両性間性的接触も含む）は2008年の412件をピークに減少傾向であり、2024年は200件。異性間性的接触は2014年以降緩やかな減少傾向であったが、2024年は31件と前年より8件増加した。

(HIV感染者)

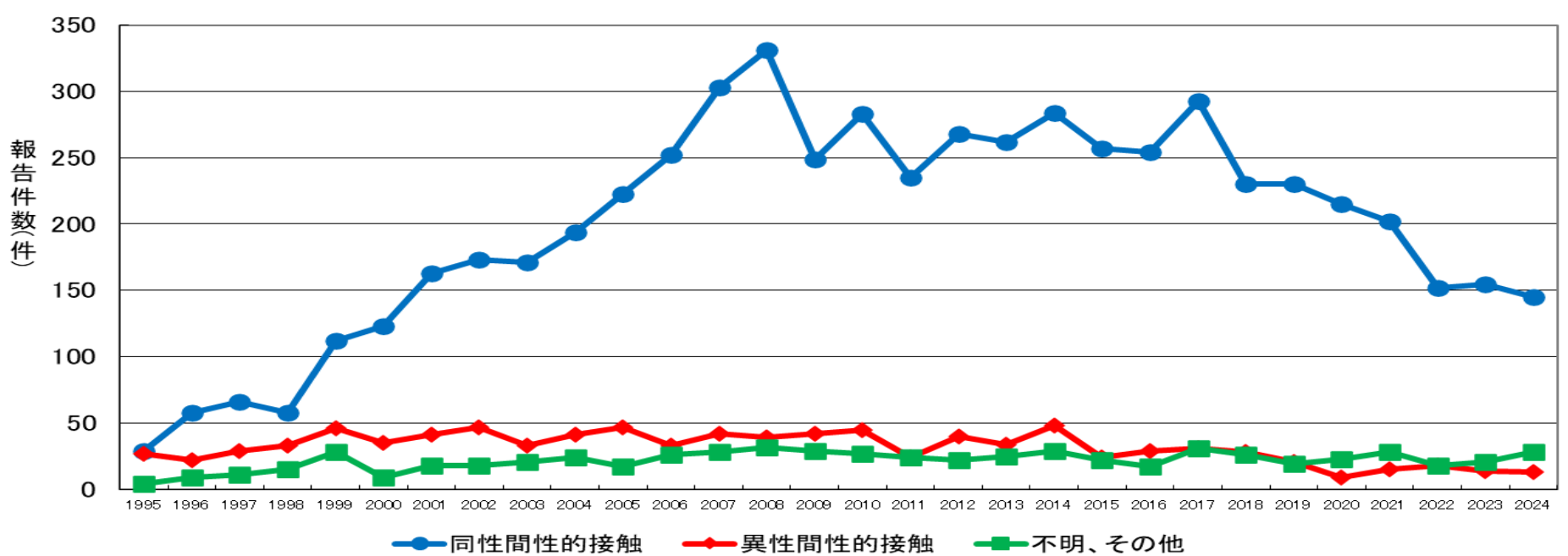
1-8
東京都の
HIV感染者の
推定感染経
路別
新規報告数
年次推移



	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
同性間性的接触	34	65	72	66	115	135	173	188	180	204	232	270	322	355	272	300	252	290	285	310	286	294	293	271	270	251	235	182	197	168
異性間性的接触	50	48	50	55	69	55	70	64	54	72	67	51	63	52	64	65	35	50	41	68	46	41	39	45	36	19	22	27	18	20
不明、その他	11	26	21	32	43	24	31	23	28	32	23	33	38	40	33	37	38	29	33	37	32	32	35	35	28	34	37	26	32	39
合計	95	139	143	153	227	214	274	275	262	308	322	354	423	447	369	402	325	369	359	415	364	367	367	351	334	304	294	235	247	227

東京都のHIV感染者の推定感染経路別新規報告数について、同性間性的接触（両性間性的接触含む）は2008年の355件をピークに減少傾向であり、2024年は168件とこの20年間で最も少なかった。異性間性的接触も減少傾向であったが、2024年は20件と前年より2件増加した。2024年の新規報告数に占める性的接触は188件（82.8%）で、同性間性的接触は168件（74.0%）であった。

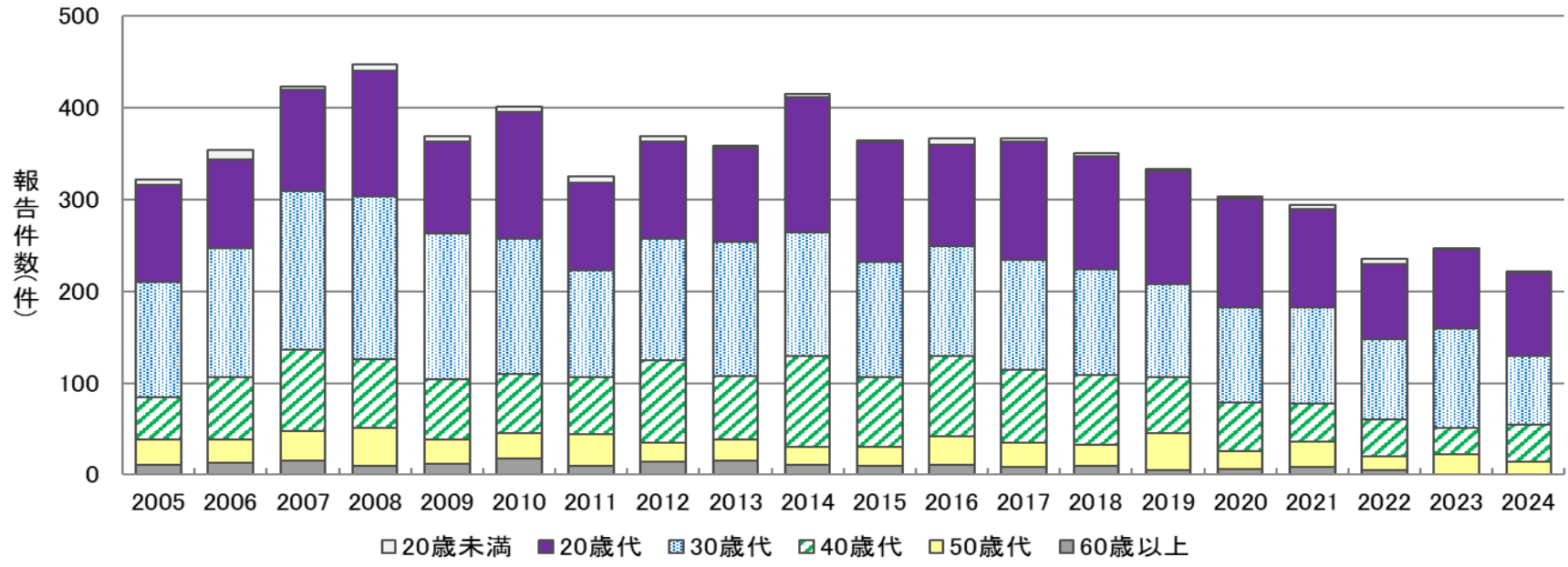
1-9
東京都の
日本国籍男
性における
HIV感染者の
推定感染経
路別
新規報告数
年次推移



	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
同性間性的接触	29	58	66	58	112	123	163	173	171	194	223	252	303	331	249	283	235	268	262	284	257	254	293	230	230	215	202	152	155	145
異性間性的接触	27	22	29	33	46	35	41	47	33	41	47	33	42	39	42	45	24	40	34	48	24	29	31	28	21	9	15	18	14	13
不明、その他	4	9	11	15	28	9	18	18	21	24	17	26	28	32	29	27	24	22	25	29	22	17	31	26	19	23	28	18	21	28
合計	60	89	106	106	186	167	222	238	225	259	287	311	373	402	320	355	283	330	321	361	303	300	355	284	270	247	245	188	190	186

東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別新規報告について、同性間性的接触（両性間性的接触含む）は2008年の331件をピークに減少傾向であり、2024年は145件であった。異性間性的接触は2020年に9件まで減少したが、以降10件台で推移。2024年は前年より1件少ない13件であった。

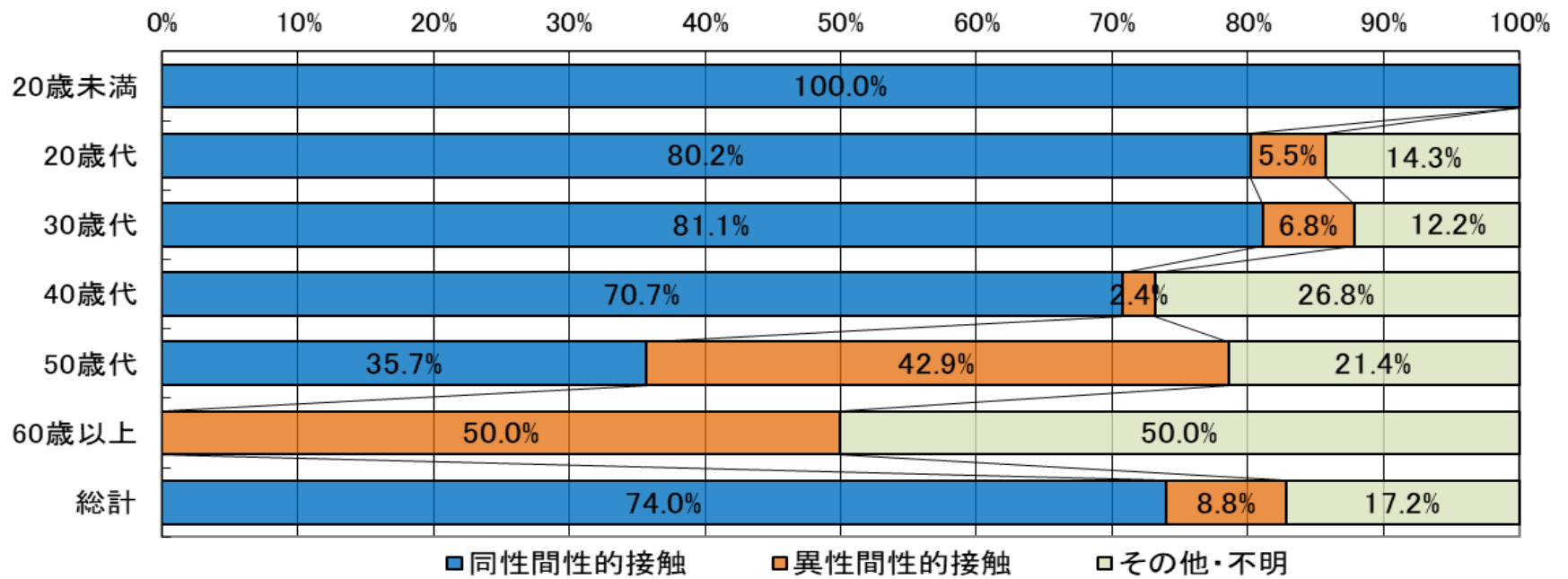
1-10
東京都の
HIV感染者の
年齢階級別
新規報告数
年次推移



	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
20歳未満	6	10	3	6	6	6	6	5	2	3	1	7	4	4	3	3	4	5	1	1
20歳代	106	97	111	137	100	139	96	106	103	148	131	111	129	123	123	118	107	82	87	91
30歳代	125	141	173	178	159	147	116	133	146	135	125	119	120	115	102	104	105	88	108	74
40歳代	47	68	88	75	66	65	63	90	70	98	76	88	79	76	60	53	42	40	29	41
50歳代	27	25	32	41	26	27	34	21	22	20	21	31	26	23	41	20	28	15	21	14
60歳以上	11	13	16	10	12	18	10	14	16	11	10	11	9	10	5	6	8	5	1	6
合計	322	354	423	447	369	402	325	369	359	415	364	367	367	351	334	304	294	235	247	227

東京都のHIV感染者の年齢階級別新規報告数について、2024年は20歳代が91件（40.1%）と最多で、次いで30歳代が74件（32.6%）、40歳代が41件（18.1%）の順が多かった。前年より増加したのは20歳代、40歳代、60歳以上で、減少したのは30歳代、50歳代であった。

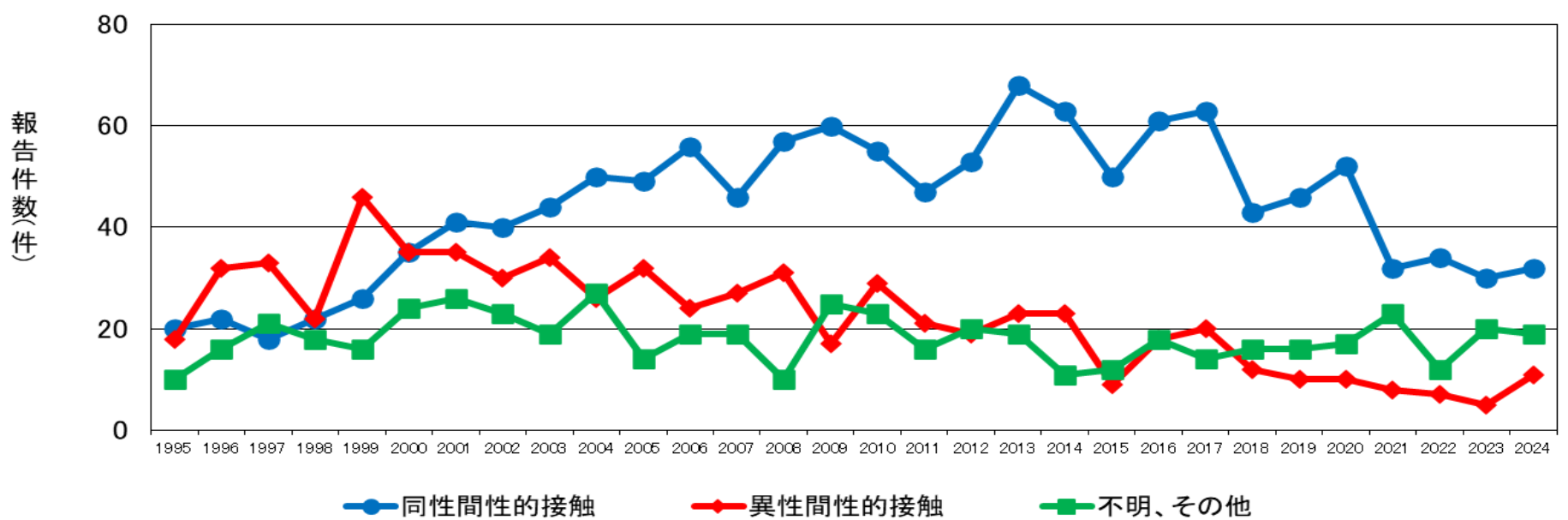
1-11
東京都の
新規HIV感染者の
年齢別・
推定感染経路別
報告割合
(2024年)



東京都の新規HIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告割合について、20歳未満から40歳代までにおいて同性間性的接触（両性間性的接触含む）がそれぞれ70%以上を占めているが、50歳代及び60歳以上では異性間性的接触の方が多くなっている。

(AIDS患者)

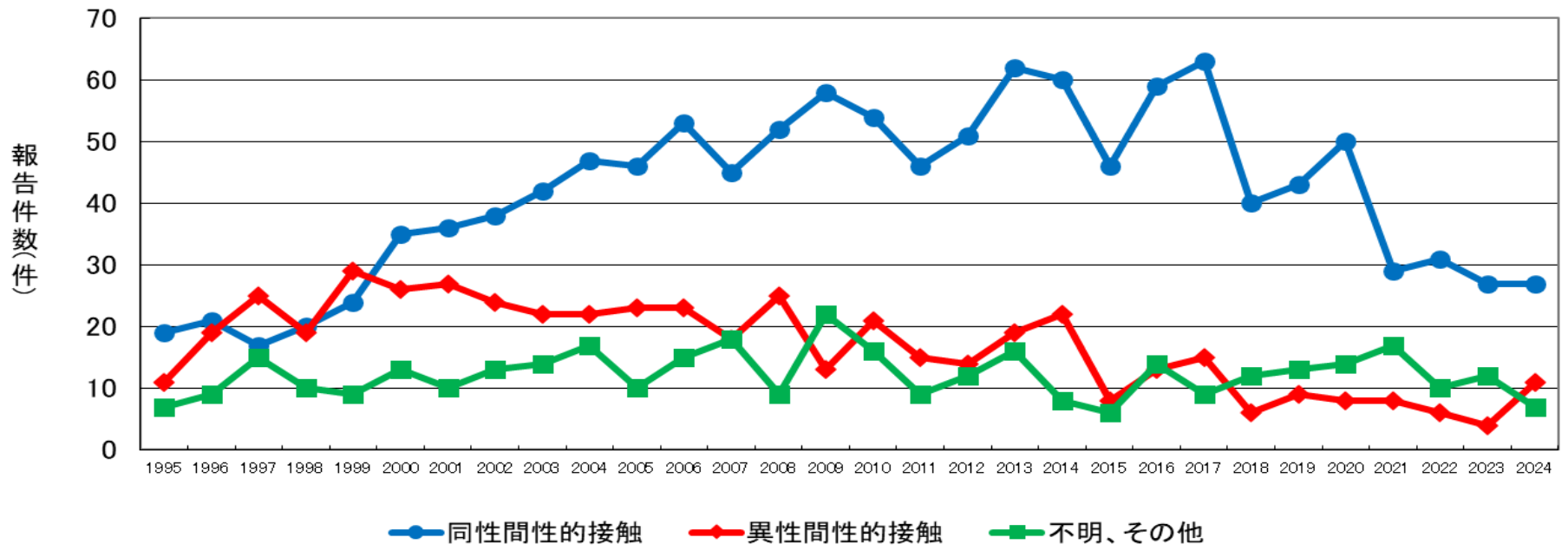
1-12
東京都の
AIDS患者の
推定感染経路別
新規報告数
年次推移



	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
同性間性的接触	20	22	18	22	26	35	41	40	44	50	49	56	46	57	60	55	47	53	68	63	50	61	63	43	46	52	32	34	30	32
異性間性的接触	18	32	33	22	46	35	35	30	34	26	32	24	27	31	17	29	21	19	23	23	9	18	20	12	10	10	8	7	5	11
不明、その他	10	16	21	18	16	24	26	23	19	27	14	19	19	10	25	23	16	20	19	11	12	18	14	16	16	17	23	12	20	19
合計	48	70	72	62	88	94	102	93	97	103	95	99	92	98	102	107	84	92	110	97	71	97	97	71	72	79	63	53	55	62

東京都のAIDS患者の推定感染経路別新規報告数について、2024年の新規報告数に占める性的接触は43件（69.4%）で、そのうち同性間性的接触（両性間性的接触含む）は2013年の68件をピークに減少傾向であったが、前年より2件多い32件（51.6%）であった。異性間性的接

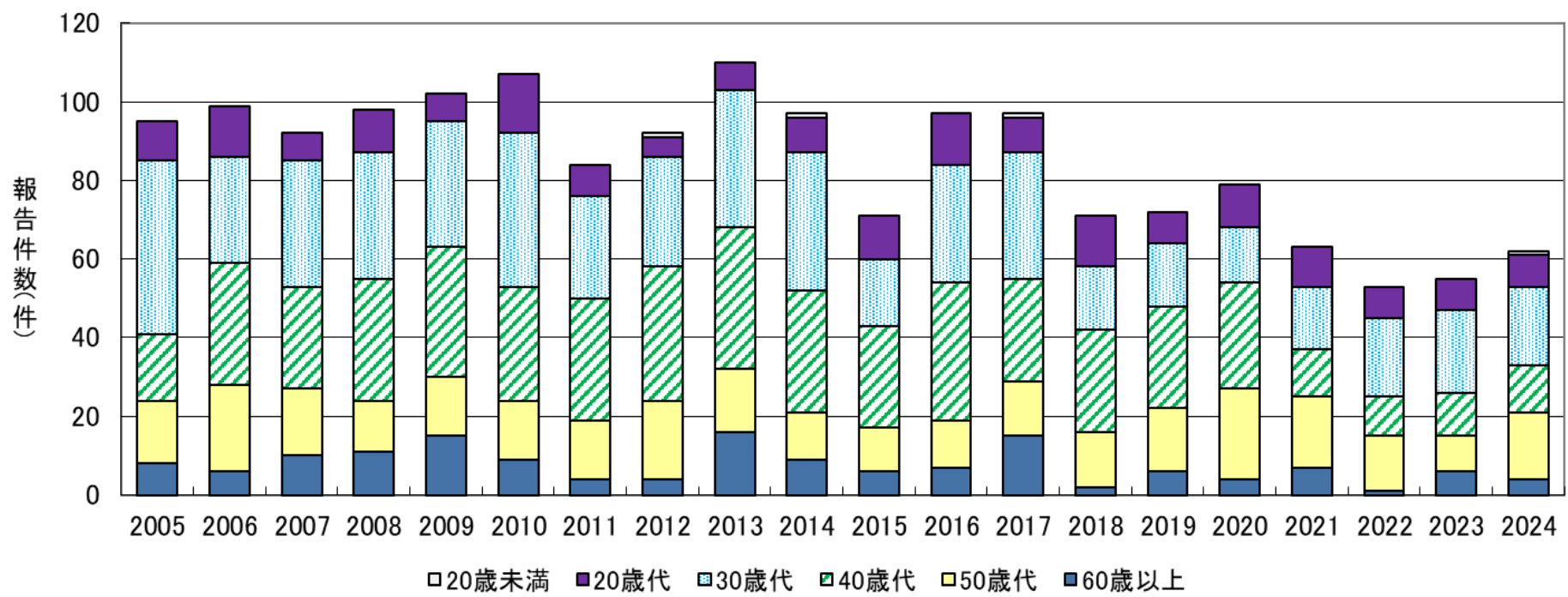
1-13
東京都の
日本国籍男性
における
AIDS患者の
推定感染経
路別
新規報告数
年次推移



	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
同性間性的接触	19	21	17	20	24	35	36	38	42	47	46	53	45	52	58	54	46	51	62	60	46	59	63	40	43	50	29	31	27	27
異性間性的接触	11	19	25	19	29	26	27	24	22	22	23	23	18	25	13	21	15	14	19	22	8	13	15	6	9	8	8	6	4	11
不明、その他	7	9	15	10	9	13	10	13	14	17	10	15	18	9	22	16	9	12	16	8	6	14	9	12	13	14	17	10	12	7
合計	37	49	57	49	62	74	73	75	78	86	79	91	81	86	93	91	70	77	97	90	60	86	87	58	65	72	54	47	43	45

東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別新規報告数について、同性間性的接触（両性間性的接触含む）は2017年の63件をピークに減少傾向であり、2024年は27件であった。異性間性的接触は2018年より一桁台で推移していたが、2024年は前年より7件多い11件であった。

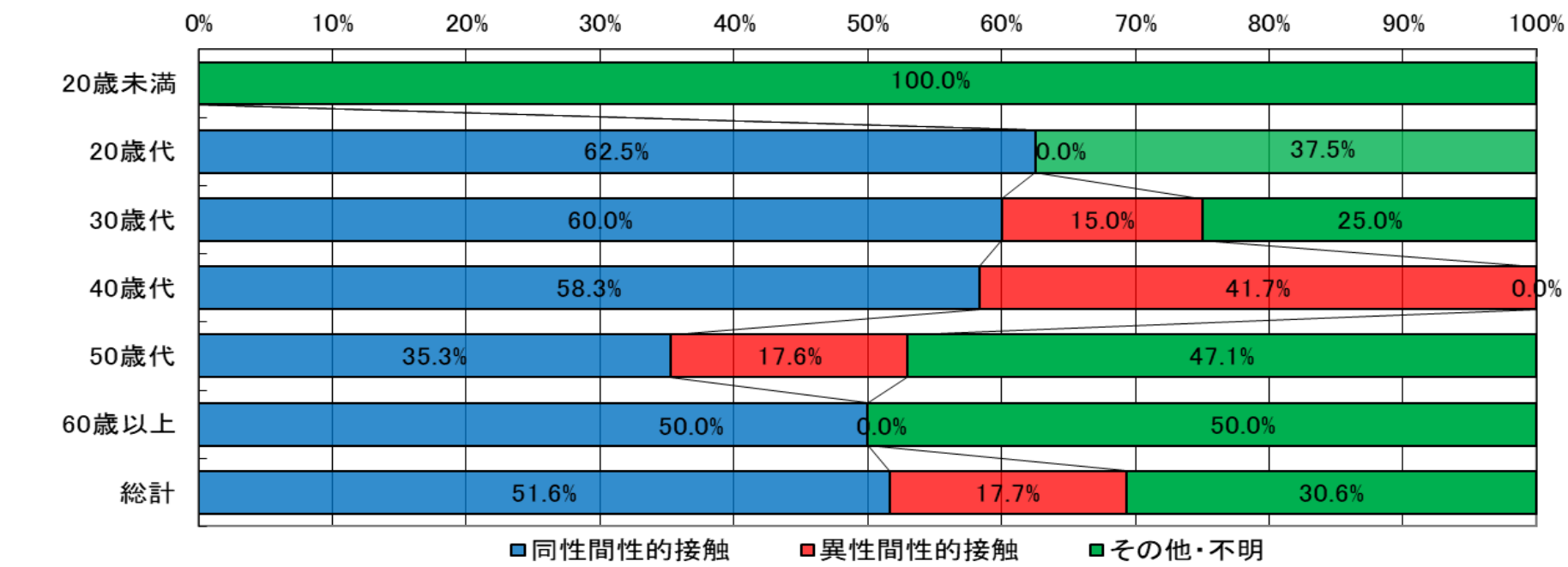
1-14
東京都の
AIDS患者の
年齢階級別
新規報告数
年次推移



	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
20歳代	10	13	7	11	7	15	8	5	7	9	11	13	9	13	8	11	10	8	8	8	
30歳代	44	27	32	32	32	39	26	28	35	35	17	30	32	16	16	14	16	20	21	20	
40歳代	17	31	26	31	33	29	31	34	36	31	26	35	26	26	26	27	12	10	11	12	
50歳代	16	22	17	13	15	15	15	20	16	12	11	12	14	14	16	23	18	14	9	17	
60歳以上	8	6	10	11	15	9	4	4	16	9	6	7	15	2	6	4	7	1	6	4	
合計	95	99	92	98	102	107	84	92	110	97	71	97	97	71	72	79	63	53	55	62	

東京都のAIDS患者の年齢階級別新規報告数について、2024年は30歳代が20件（32.3%）と最多で、次いで50歳代が17件（27.4%）、40歳代が12件（19.4%）が多かった。前年より増加したのは20歳未満、40歳代、50歳代で、減少したのは30歳代、60歳以上であった。

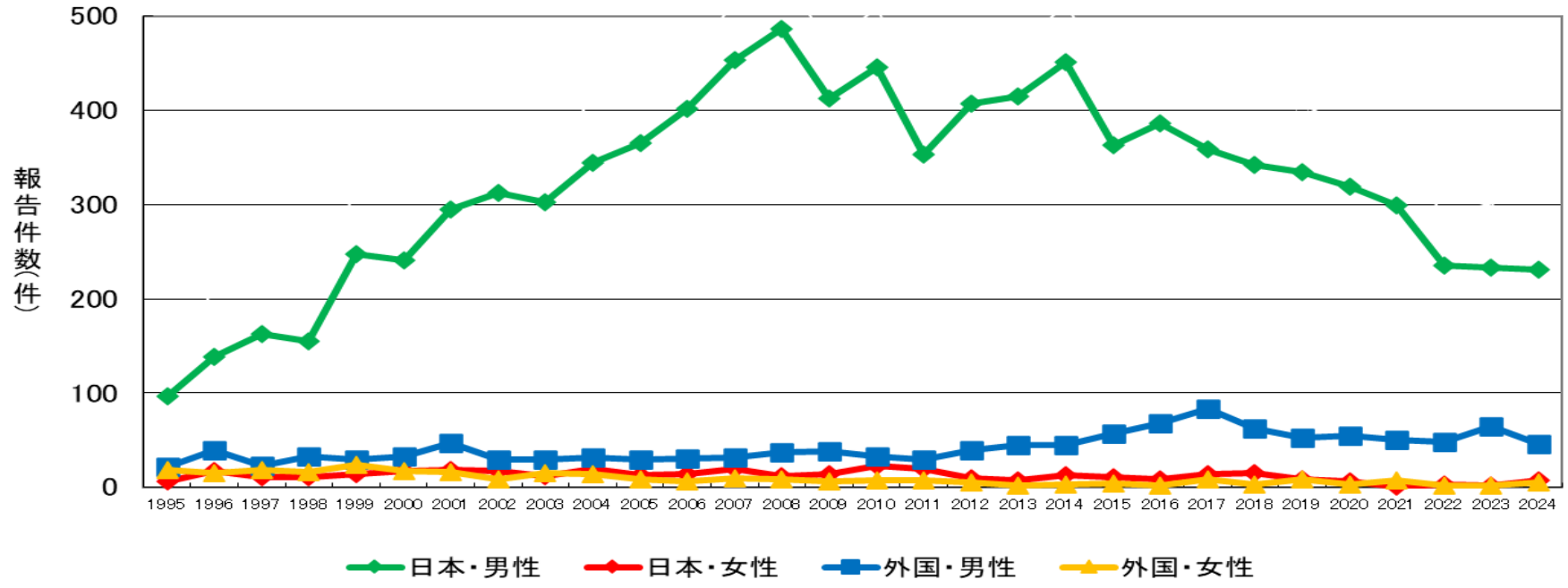
1-15
東京都の新規AIDS患者の
年齢別・推定感染経路別
報告割合
(2024年)



東京都の新規AIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告割合について、20歳代から40歳代までと60歳以上において同性間性的接触（両性間性的接触含む）がそれぞれ50%以上を占めている。

[国籍別・性別報告数]
(HIV感染者とAIDS患者の総計)

1-16
東京都の
国籍別・
性別
新規報告数
年次推移

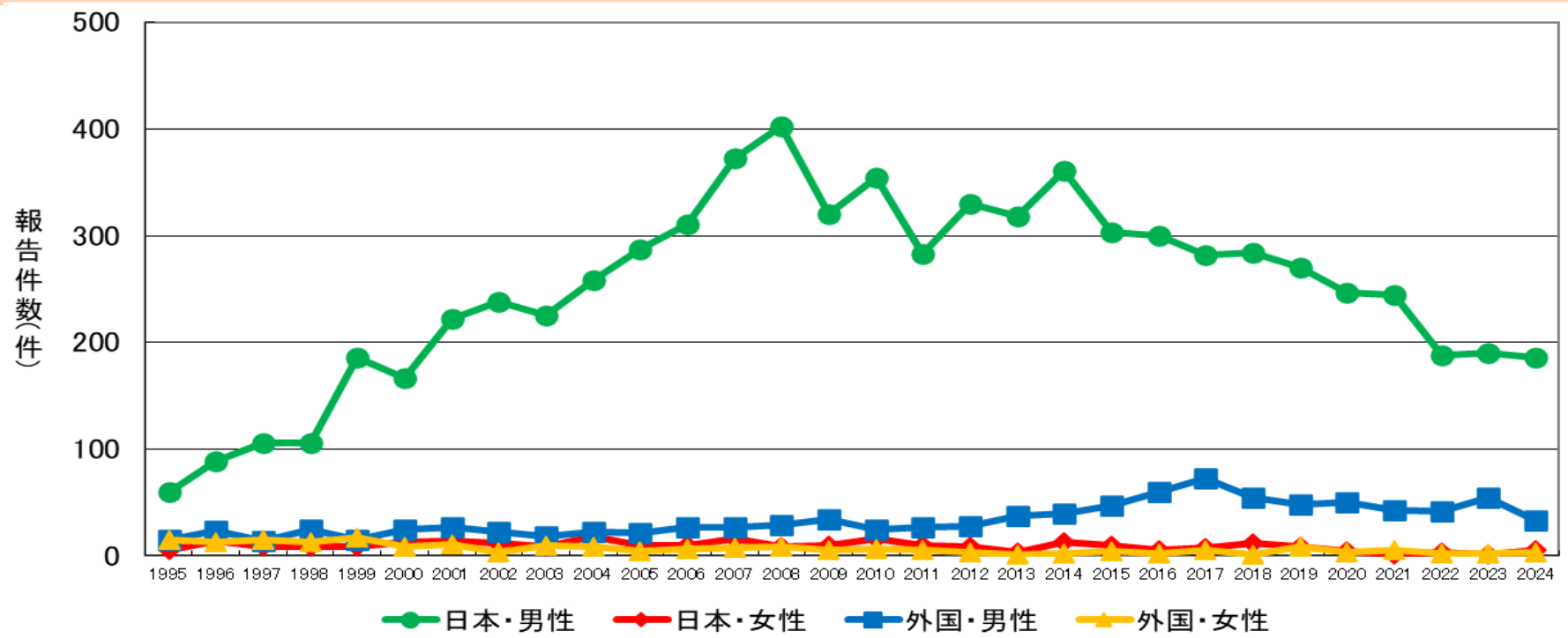


	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
日本・男性	97	138	163	155	248	241	295	313	303	345	366	402	454	487	413	446	353	407	415	451	363	386	359	342	335	319	299	235	233	231
日本・女性	6	17	11	11	14	17	18	17	12	20	13	14	19	12	14	23	19	10	7	13	11	8	14	15	9	6	1	3	2	7
外国・男性	22	39	23	33	29	33	47	29	29	32	29	31	32	37	38	33	30	39	45	45	57	68	83	62	53	55	50	48	65	46
外国・女性	18	15	18	16	24	17	16	9	15	14	9	6	10	9	6	7	7	5	2	3	4	2	8	3	9	3	7	2	2	5
合計	143	209	215	215	315	308	376	368	359	411	417	453	515	545	471	509	409	461	469	512	435	464	464	422	406	383	357	288	302	289

東京都の国籍別・性別新規報告数について、日本国籍男性は2008年の487件をピークに減少傾向で2024年は231件（79.9%）。外国籍男性は2017年の83件をピークに減少傾向で2024年は46件（15.9%）であった。日本国籍女性と外国籍女性は近年一桁台で推移しており、2024年はそれぞれ7件、5件であった。

(HIV感染者)

1-17
東京都のHIV
感染者の国
籍別・性別
新規報告数
年次推移

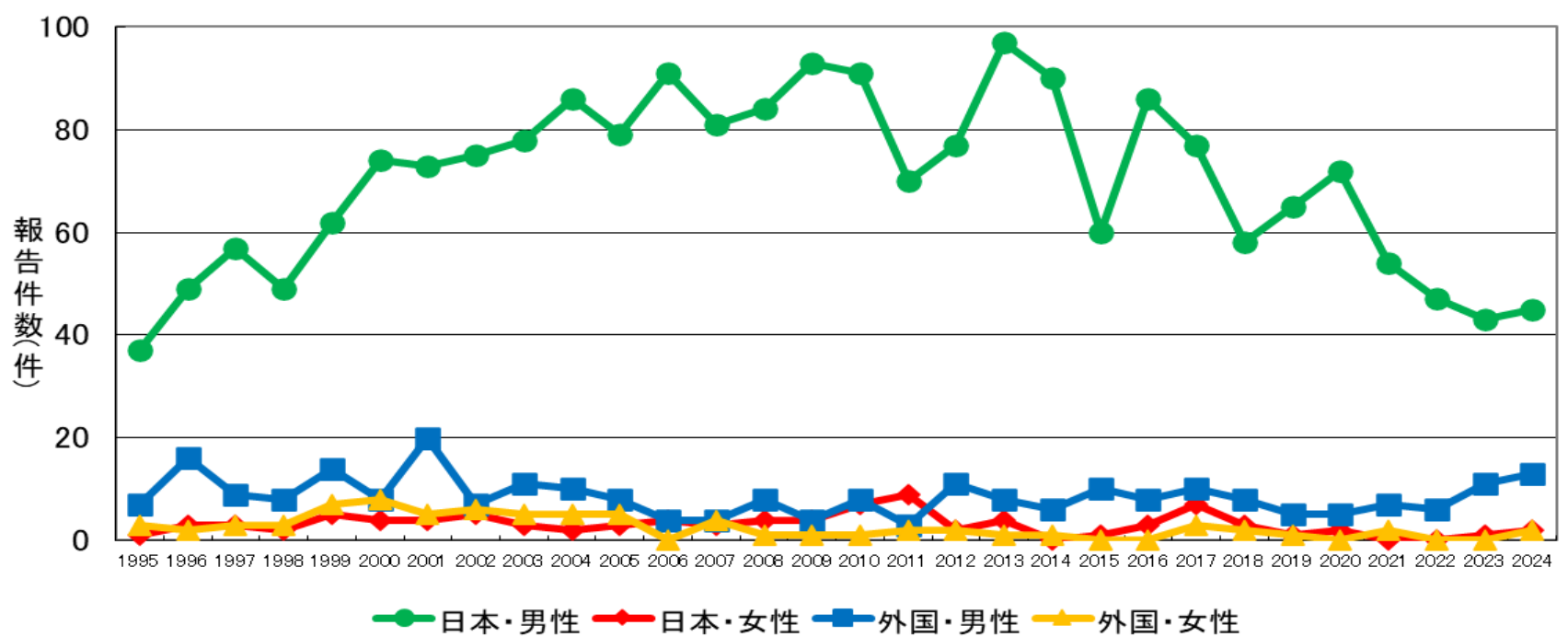


	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
日本・男性	60	89	106	106	186	167	222	238	225	259	287	311	373	403	320	355	283	330	318	361	303	300	282	284	270	247	245	188	190	186
日本・女性	5	14	8	9	9	13	14	12	9	18	10	10	16	8	10	16	10	8	3	13	10	5	7	12	8	4	1	3	1	5
外国・男性	15	23	14	25	15	25	27	22	18	22	21	27	27	29	34	25	27	28	37	39	47	60	73	54	48	50	43	42	54	33
外国・女性	15	13	15	13	17	9	11	3	10	9	4	6	7	8	5	6	5	3	1	2	4	2	5	1	8	3	5	2	2	3
合計	95	139	143	153	227	214	274	275	262	308	322	354	423	448	369	402	325	369	359	415	364	367	367	351	334	304	294	235	247	227

東京都のHIV感染者の国籍別・性別新規報告数について、日本国籍男性は2008年の403件をピークに減少傾向で2024年は186件。外国籍男性は2017年の73件をピークに減少傾向で2024年は33件であった。日本国籍女性と外国籍女性は近年一桁台で推移しており、2024年はそれぞれ5件、3件であった。

(AIDS患者)

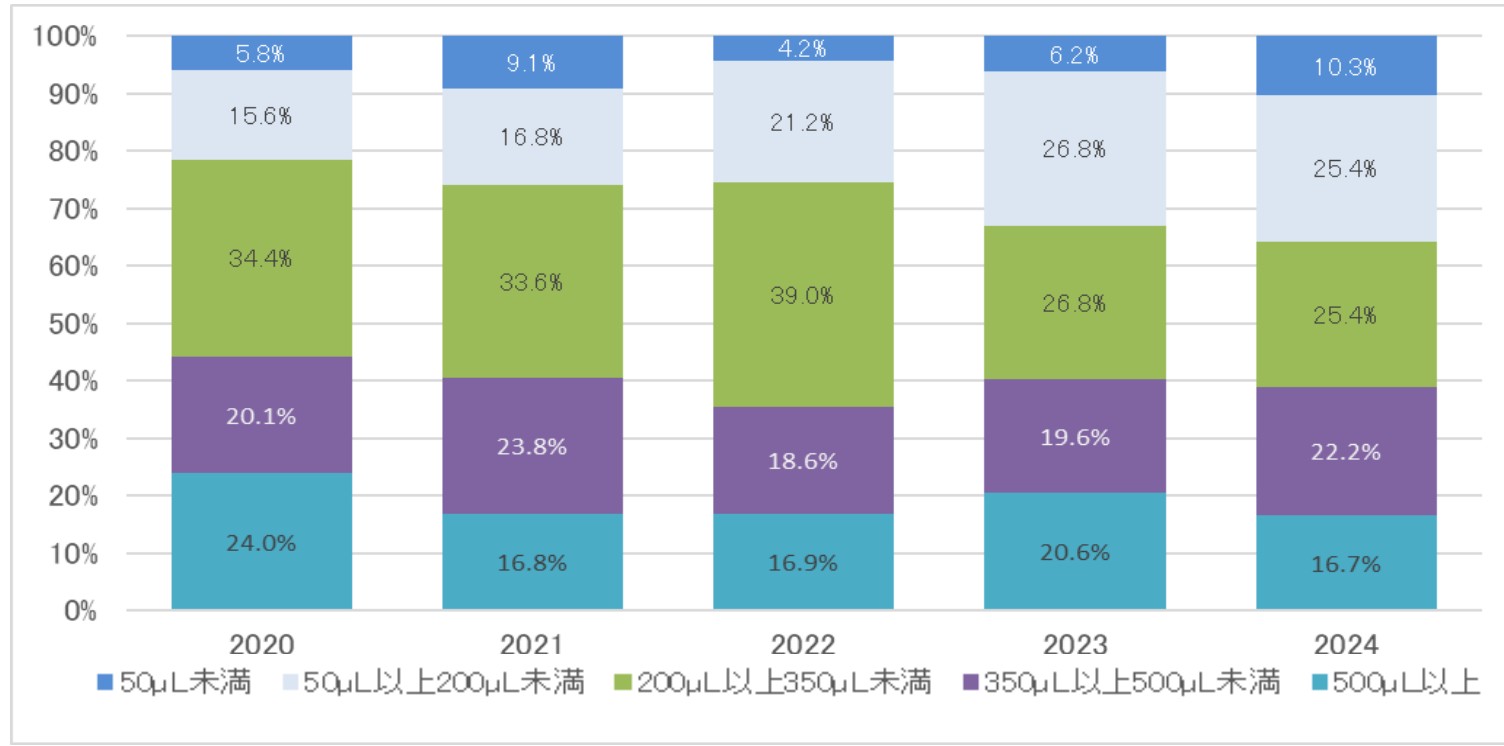
1-18
東京都の
AIDS患者の
国籍別・
性別
新規報告数
年次推移



	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
日本・男性	37	49	57	49	62	74	73	75	78	86	79	91	81	84	93	91	70	77	97	90	60	86	77	58	65	72	54	47	43	45
日本・女性	1	3	3	2	5	4	4	5	3	2	3	4	3	4	4	7	9	2	4	0	1	3	7	3	1	2	0	0	1	2
外国・男性	7	16	9	8	14	8	20	7	11	10	8	4	4	8	4	8	3	11	8	6	10	8	10	8	5	5	7	6	11	13
外国・女性	3	2	3	3	7	8	5	6	5	5	5	0	4	1	1	1	2	2	1	1	0	0	3	2	1	0	2	0	0	2
合計	48	70	72	62	88	94	102	93	97	103	95	99	92	97	102	107	84	92	110	97	71	97	97	71	72	79	63	53	55	62

東京都のAIDS患者の国籍別・性別新規報告数について、日本国籍男性は2013年の97件をピークに減少傾向であったが、2024年は前年より2件増え45件であった。外国籍男性は2001年の20件をピークに減少傾向であったが、近年は増加傾向に転じ2024年は13件であった。日本国籍女性と外国籍女性は一桁台で推移しており、2024年はそれぞれ2件であった。

1-19
東京都の新規
HIV感染者の
CD4値の年次
推移



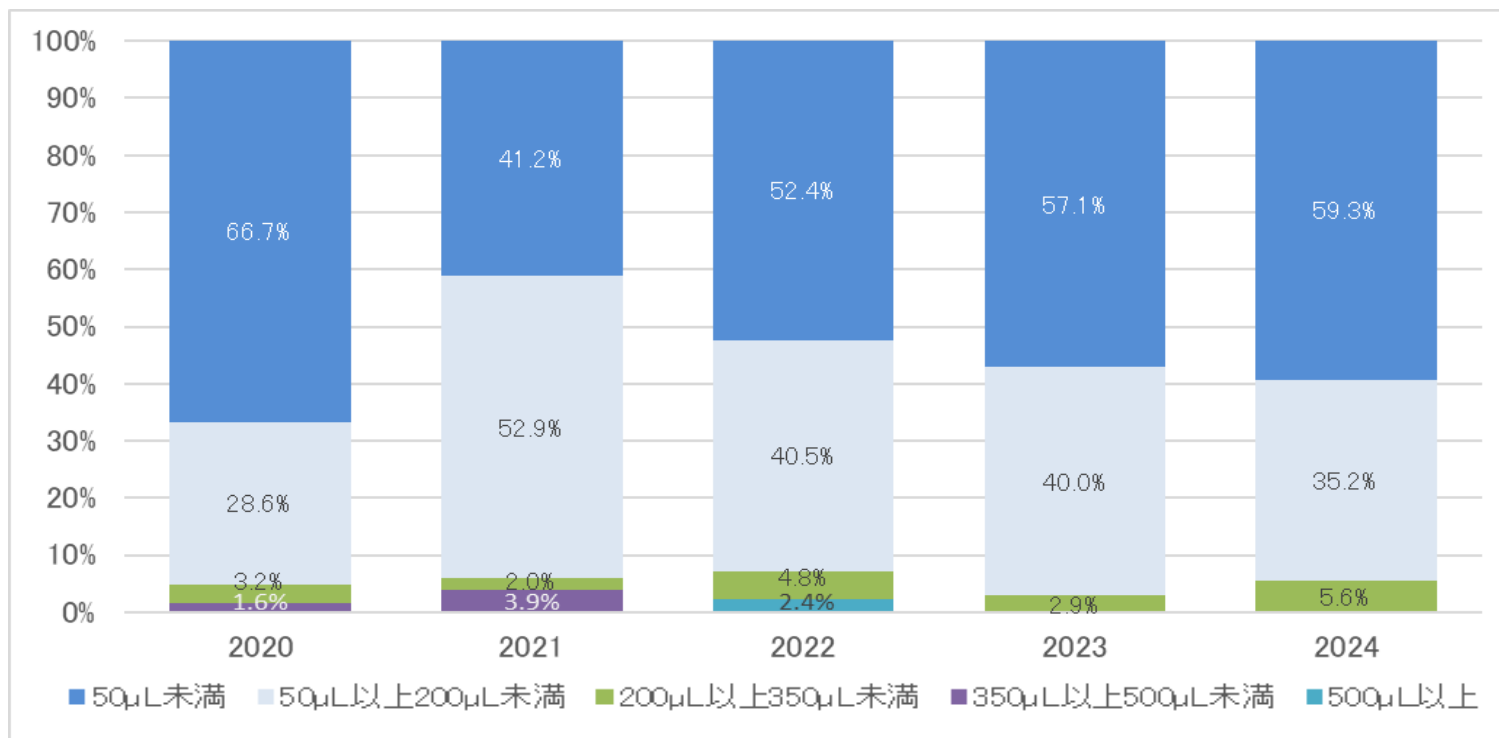
(件)

	2020	2021	2022	2023	2024
50μL未満	9	13	5	6	13
50μL以上200μL未満	24	24	25	26	32
200μL以上350μL未満	53	48	46	26	32
350μL以上500μL未満	31	34	22	19	28
500μL以上	37	24	20	20	21
合計	154	143	118	97	126

2024年の発生届出件数289件のうち、CD4値が入力されているものは180件(HIV感染者126件、AIDS患者54件)

東京都の新規HIV感染者のCD4値について、350/ μ L未満の占める割合は2024年は61.1% (77件) と過去5年と比較し大きな変化はないが、200/ μ L未満の占める割合は35.7% (45件) と各5年で1番多く、増加傾向である。

1-20
東京都の新規
AIDS患者の
CD4値の年次
推移



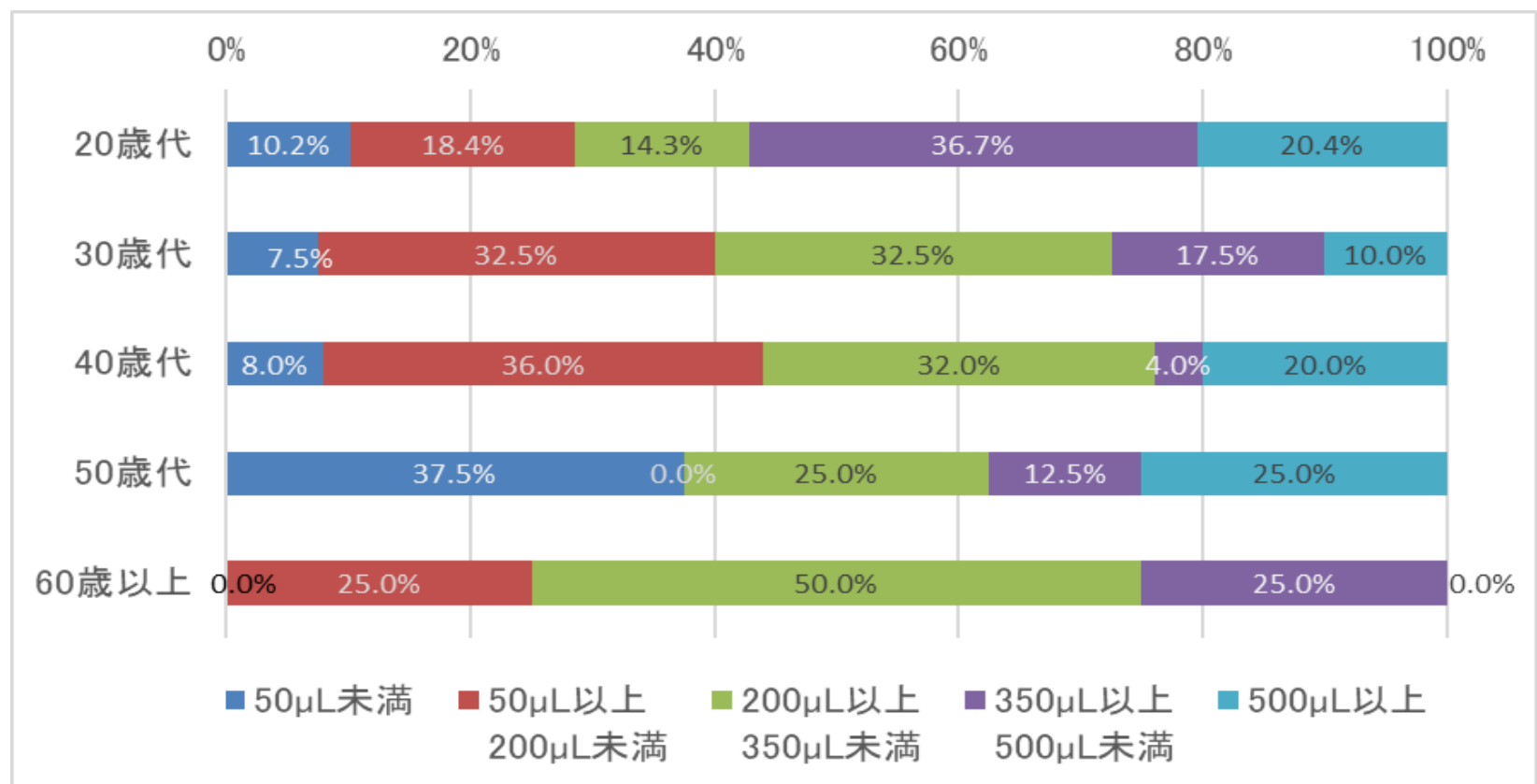
(件)

	2020	2021	2022	2023	2024
50μL未満	42	21	22	20	32
50μL以上200μL未満	18	27	17	14	19
200μL以上350μL未満	2	1	2	1	3
350μL以上500μL未満	1	2	0	0	0
500μL以上	0	0	1	0	0
合計	63	51	42	35	54

2024年の発生届出件数289件のうち、CD4値が入力されているものは180件(HIV感染者126件、AIDS患者54件)

東京都の新規AIDS患者のCD4値について、350/ μ L未満の占める割合が2023年以降は100%であり、200/ μ L未満の占める割合は95%前後で推移している。

1-21
東京都の新規
HIV感染者の
年代別CD4値
(2024年)

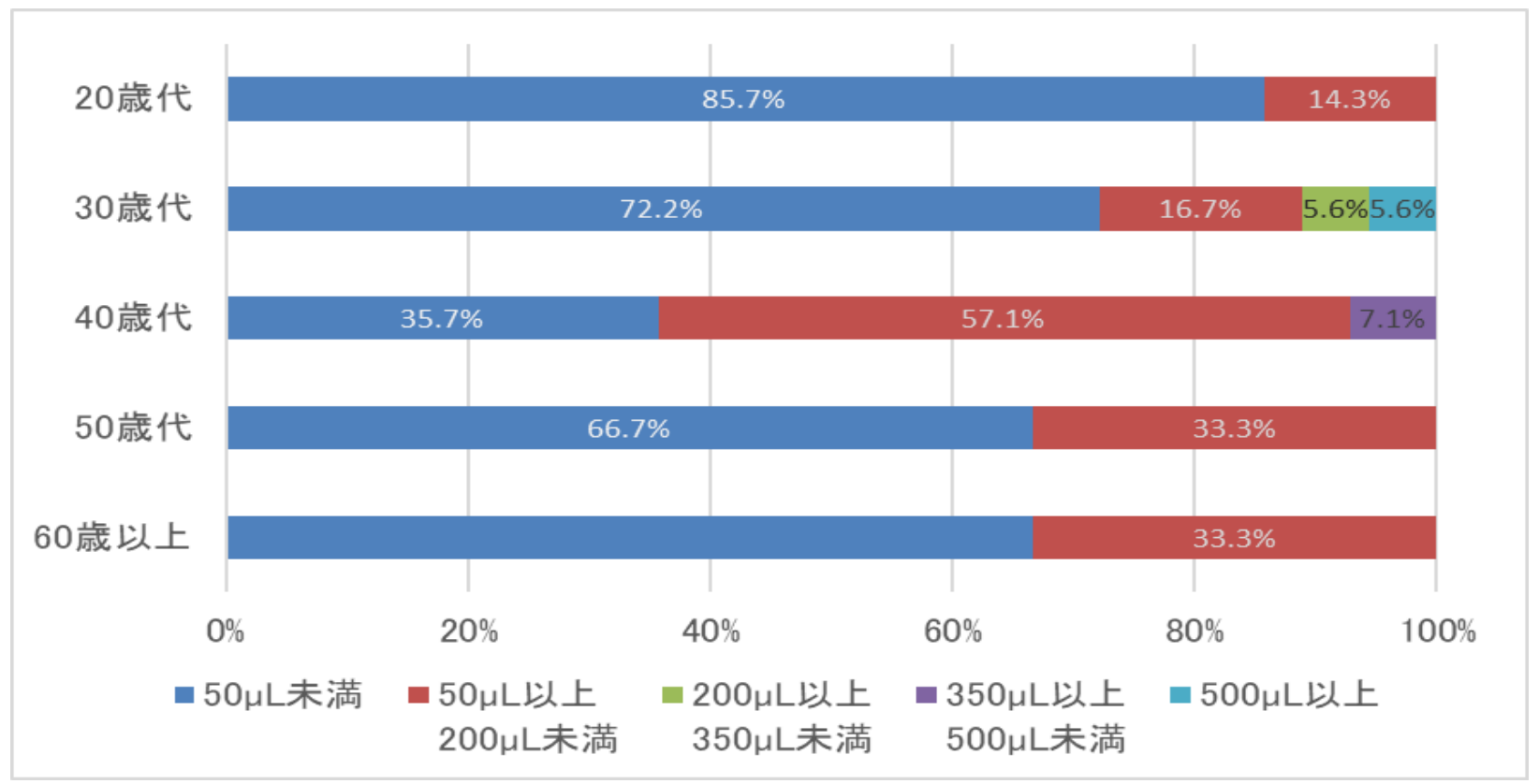


(件)

年代	CD4値	50μL未満	50μL以上 200μL未満	200μL以上 350μL未満	350μL以上 500μL未満	500μL以上	合計
20歳未満							
20歳代		5	9	7	18	10	49
30歳代		3	13	13	7	4	40
40歳代		2	9	8	1	5	25
50歳代		3	0	2	1	2	8
60歳以上		0	1	2	1	0	4
合計		13	32	32	28	21	126

東京都の新規HIV感染者の年代別CD4値について、350/μL未満の占める割合が多いのは40歳代（76%）、60歳以上（75%）、30歳代（72.5%）の順で、200/μL未満の占める割合が多いのは40歳代（44%）、30歳代（40%）、50歳代（37.5%）である。

1-22
東京都の新規
AIDS患者の
年代別CD4値
(2024年)



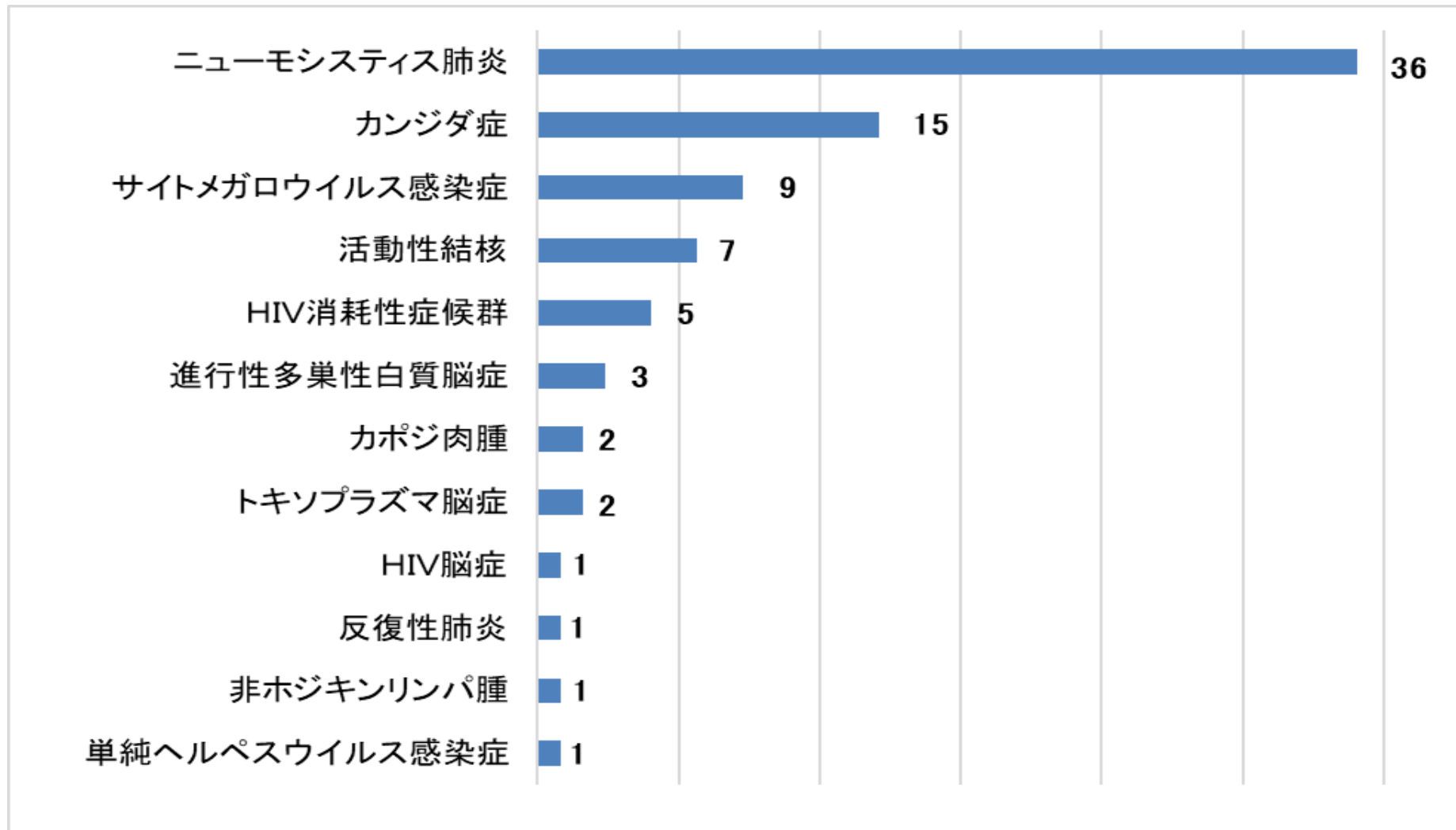
(件)

年代	CD4値	50μL未満	50μL以上 200μL未満	200μL以上 350μL未満	350μL以上 500μL未満	500μL以上	合計
20歳代		6	1				7
30歳代		13	3	1		1	18
40歳代		5	8		1		14
50歳代		6	3				9
60歳以上		4	2				6
合計		34	17	1	1	1	54

東京都の新規AIDS患者の年代別CD4値について、350/μL未満は20歳代、50歳代、60歳以上で100%を占めており、他の年代も90%台である。200/μL未満についても20歳代、50歳代、60歳以上で100%を占めており、他の年代でも90%台である。

1-23
東京都の新規AIDS患者の指標疾患罹患数
(2024年)

* 複数回答



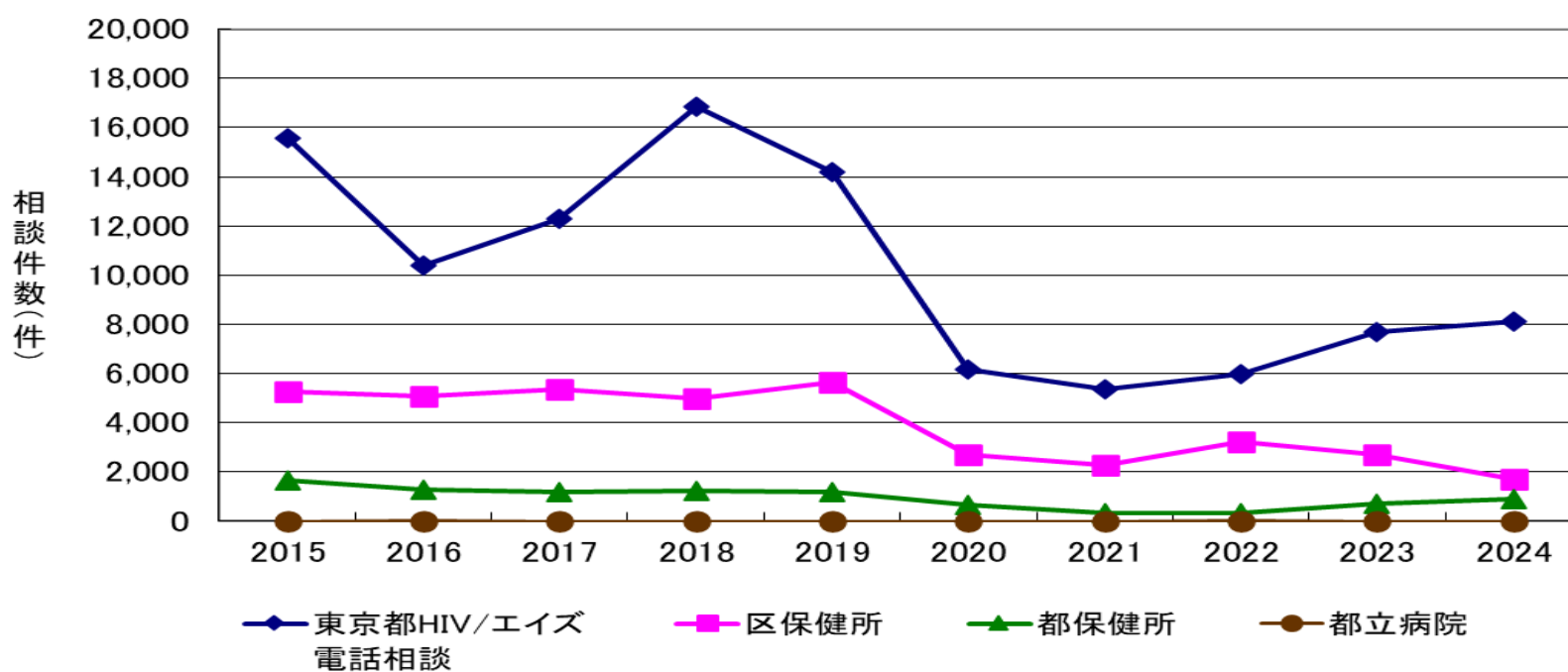
(件)

東京都の新規AIDS患者の指標疾患割合について、ニューモシスティス肺炎が36件で最多。次いでカンジダ症（15件）、サイトメガロウイルス感染症（9件）、活動性結核（7件）の順となっている。

Ⅱ 東京都のHIV/エイズに関する検査・相談数、療養体制

[電話相談]

2-1 HIV/エイズに関する電話相談件数年次推移

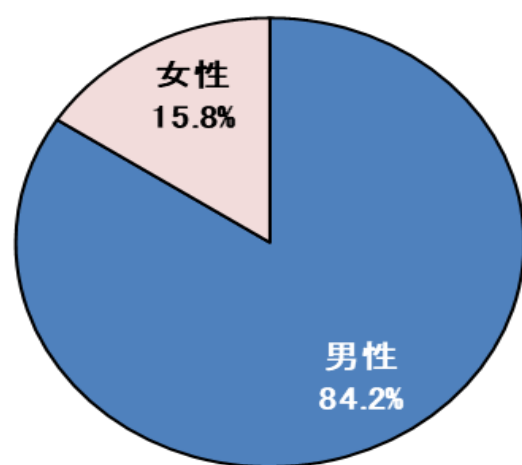


	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
東京都HIV/エイズ電話相談	15,555	10,389	12,293	16,836	14,181	6,167	5,342	5,974	7,695	8,099
区保健所	5,262	5,055	5,358	5,001	5,639	2,696	2,258	3,225	2,703	1,714
都保健所	1,653	1,297	1,167	1,219	1,197	644	343	314	712	890
都立病院	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
合計	22,470	16,742	18,818	23,056	21,017	9,507	7,943	9,514	11,110	10,703

HIV/エイズに関する電話相談件数について、2018年の23,056件をピークに、以後新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあり1万件以下で推移してしたが、2022年より増加に転じ、2024年は前年より407件少ない10,703件であった。

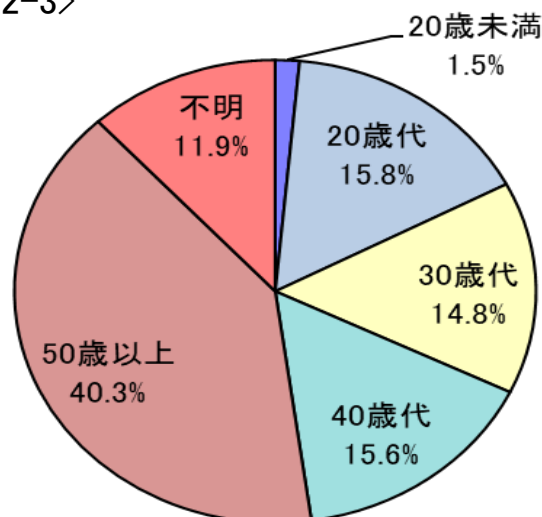
2-2 東京都HIV/エイズ電話相談における相談者の性別 (2024年)

<2-2>



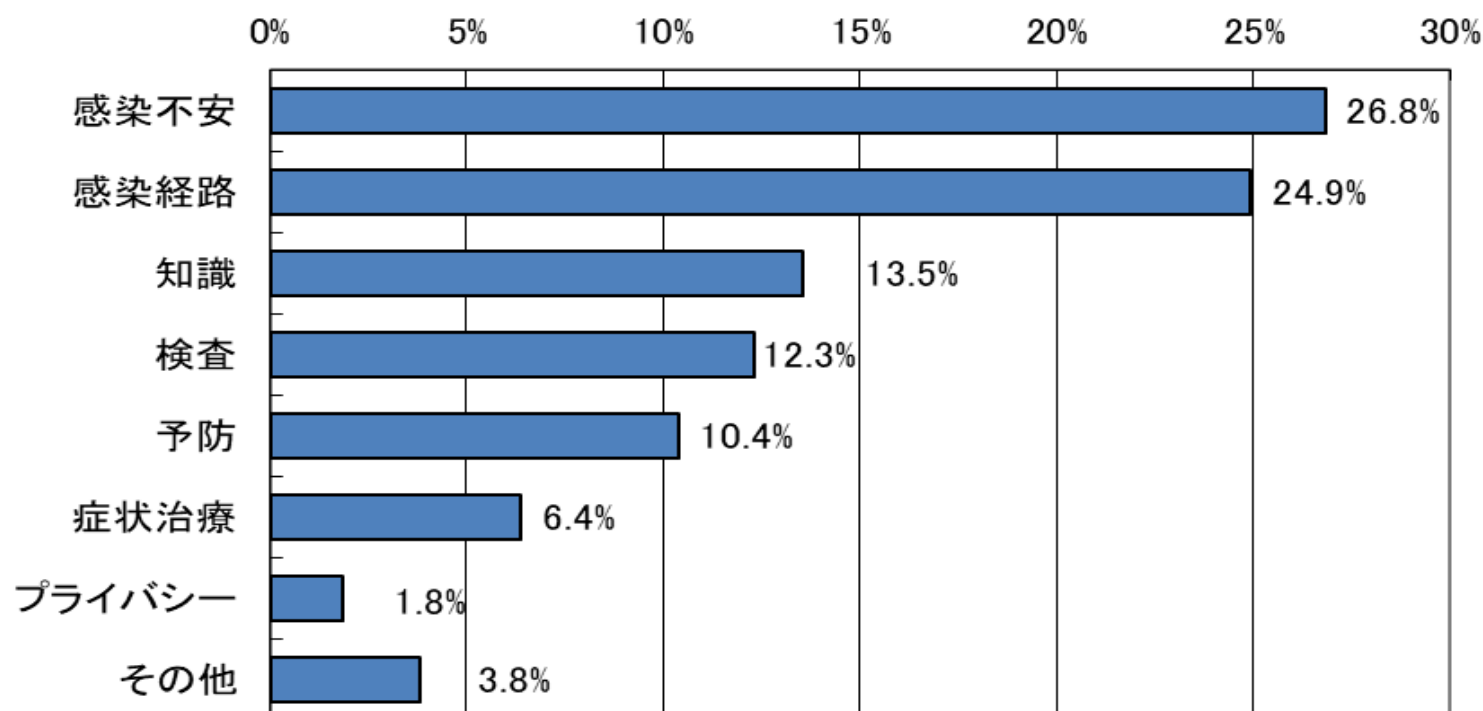
2-3 東京都HIV/エイズ電話相談における相談者の年齢 (2024年)

<2-3>



東京都HIV/エイズ電話相談における相談者の性別について、男性が84.2%と多い。相談者の年齢は、50歳以上が40.3%と一番多く、次いで20歳代(15.8%)、40歳代(15.6%)、30歳代(14.8%)となっている。

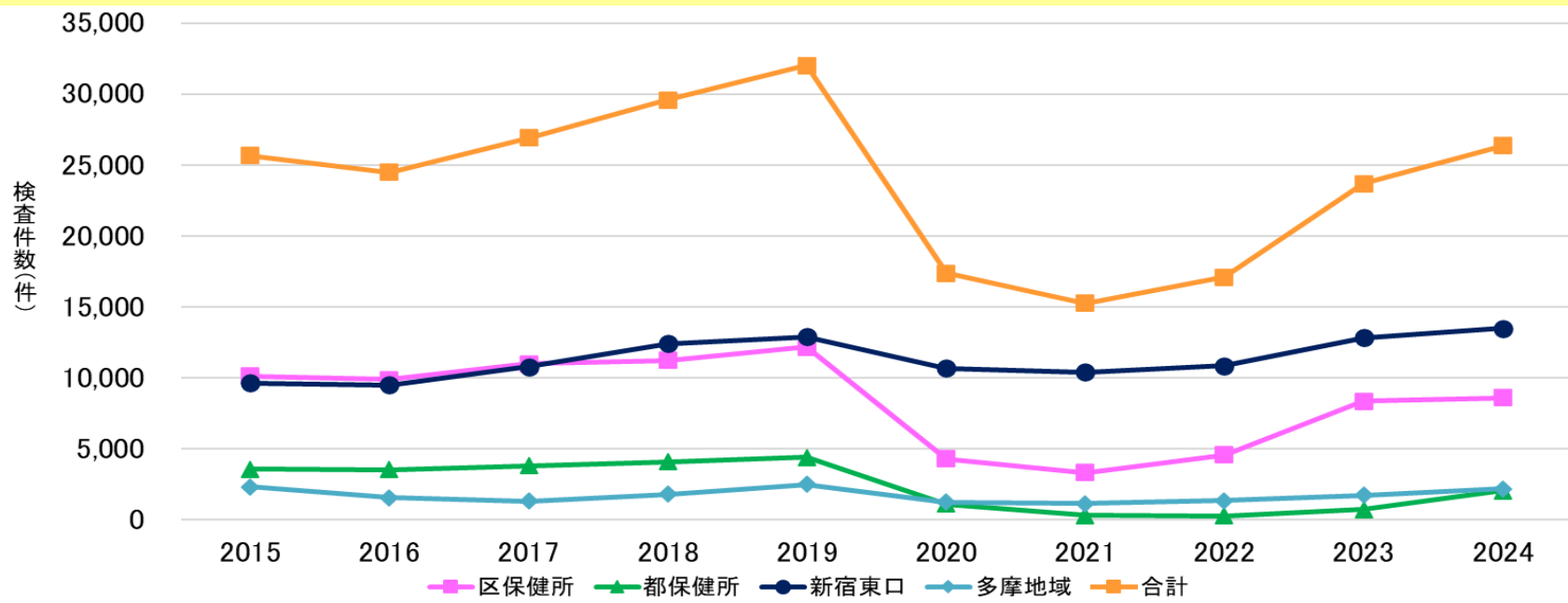
2-4 東京都HIV/エイズ電話相談における相談内容 (2024年) *複数回答



東京都HIV/エイズ電話相談における相談内容について、感染不安(26.8%)と感染経路(24.9%)が多く、次いで、知識(13.5%)、検査(12.3%)、予防(10.4%)となっている。

[HIV検査]

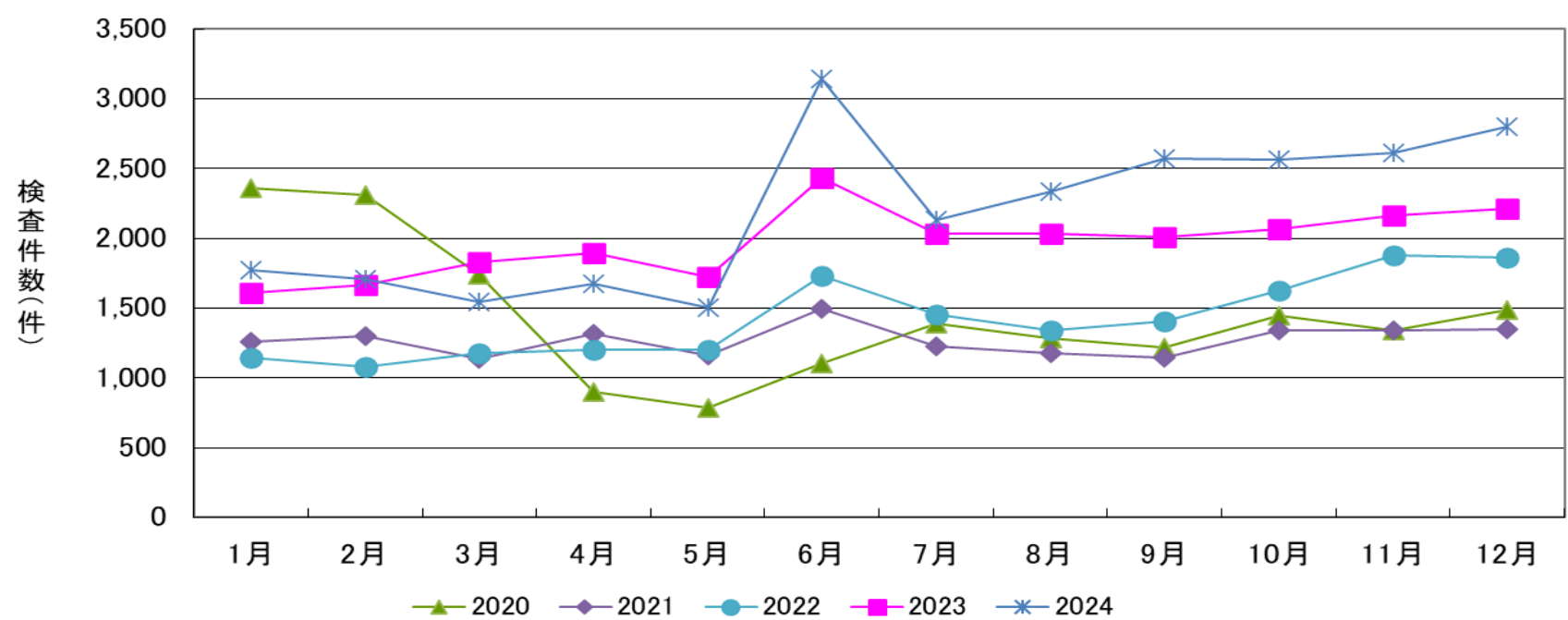
2-5
HIV検査件数
年次推移



	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
区保健所	10,129	9,885	11,005	11,253	12,198	4,321	3,353	4,573	8,363	8,621
都保健所	3,565	3,561	3,809	4,105	4,423	1,109	336	300	747	2,048
新宿東口	9,662	9,501	10,785	12,408	12,897	10,691	10,427	10,870	12,846	13,501
多摩地域	2,328	1,561	1,321	1,810	2,498	1,249	1,143	1,364	1,737	2,207
合計	25,684	24,508	26,920	29,576	32,016	17,370	15,259	17,107	23,693	26,377

HIV検査件数について、2020～2023年は、新型コロナウイルス感染症の影響による保健所等での検査の休止、縮小により検査数が減少した。2024年は各検査機関共に検査件数が増加し、全体では2,684件増加し26,377件、区保健所は258件増加、都保健所は1301件増加、新宿東口検査・相談室は655件増加、多摩地域検査・相談室は470件増加した。この10年間で最も多かった2019年と比較すると、2024年の全体は82.4%、区保健所は70.7%、都保健所は46.3%、新宿東口検査・相談室は104.7%、多摩地域は88.4%まで回復した。

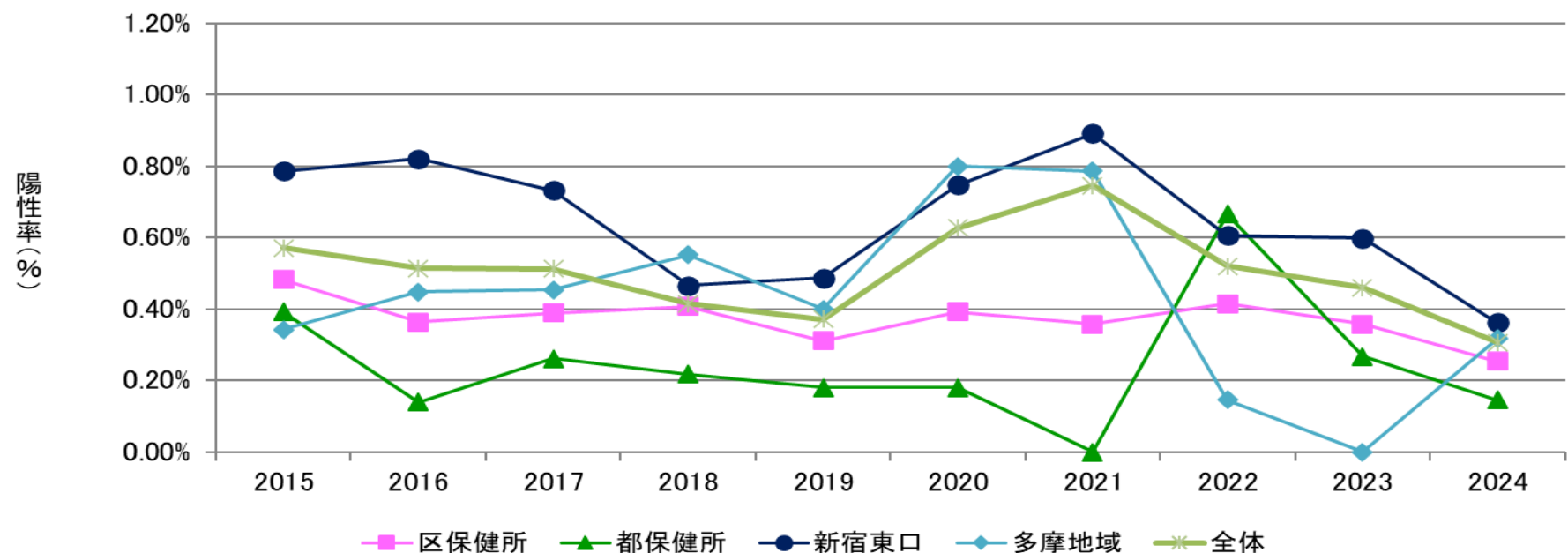
2-6
月別HIV
検査件数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020	2,363	2,314	1,738	899	788	1,106	1,388	1,283	1,217	1,447	1,342	1,485
2021	1,262	1,302	1,140	1,320	1,163	1,497	1,226	1,176	1,141	1,342	1,340	1,350
2022	1,147	1,078	1,181	1,199	1,198	1,729	1,453	1,343	1,408	1,627	1,880	1,864
2023	1,612	1,670	1,832	1,898	1,720	2,435	2,033	2,030	2,010	2,070	2,167	2,216
2024	1,771	1,709	1,548	1,675	1,503	3,146	2,134	2,338	2,575	2,566	2,612	2,800

月別HIV検査件数について、2024年は3月、4月、5月以外は前年より増加した。検査数は6月、12月、11月の順で多く、HIV検査・相談月間、エイズ予防月間中は各検査機関で検査枠増等の対応もあり検査数増につながった。

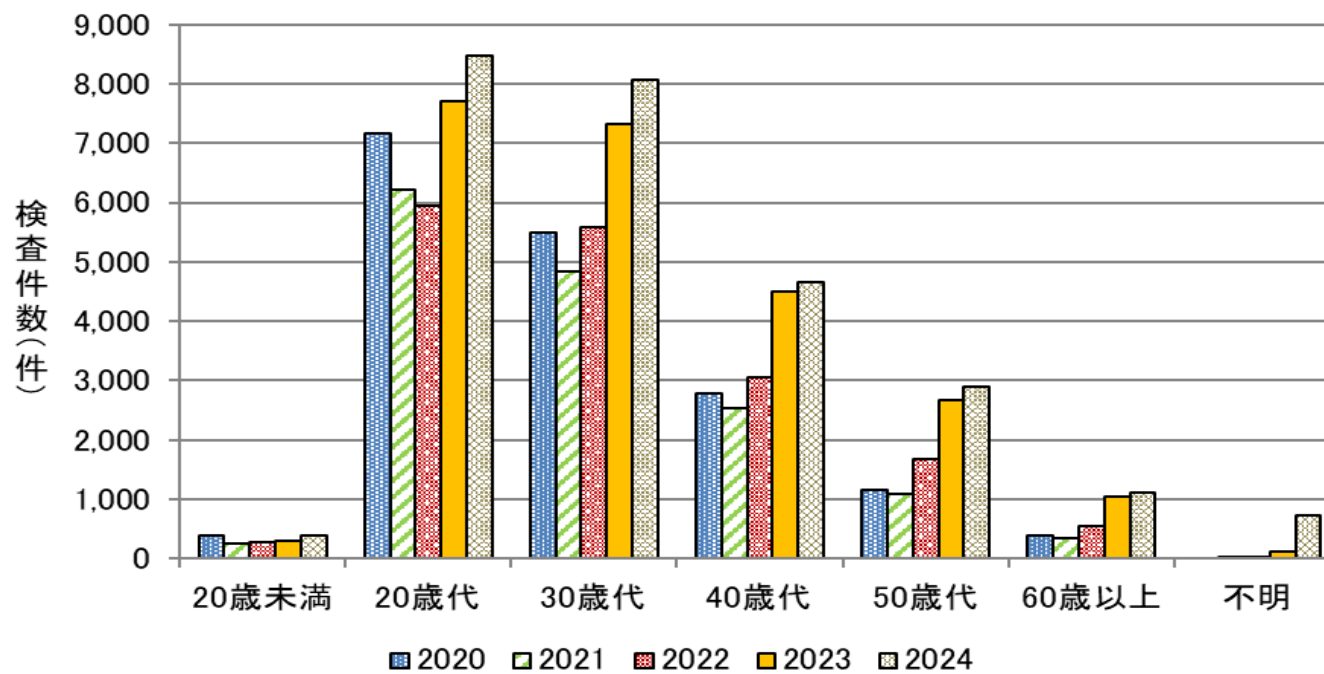
2-7
HIV検査に
おける
陽性件数・
陽性率
年次推移



		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
陽性率	区保健所	0.48%	0.36%	0.39%	0.41%	0.31%	0.39%	0.36%	0.42%	0.36%	0.26%
	都保健所	0.39%	0.14%	0.26%	0.22%	0.18%	0.18%	0.00%	0.67%	0.27%	0.15%
	新宿東口	0.79%	0.82%	0.73%	0.47%	0.49%	0.75%	0.89%	0.61%	0.60%	0.36%
	多摩地域	0.34%	0.45%	0.45%	0.55%	0.40%	0.80%	0.79%	0.15%	0.00%	0.32%
	全体	0.57%	0.51%	0.51%	0.42%	0.37%	0.63%	0.75%	0.52%	0.46%	0.31%
陽性者数	区保健所	49	36	43	46	38	17	12	19	30	22
	都保健所	14	5	10	9	8	2	0	2	2	3
	新宿東口	76	78	79	58	63	80	93	66	77	49
	多摩地域	8	7	6	10	10	10	9	2	0	7
	全体	147	126	138	123	119	109	114	89	109	81

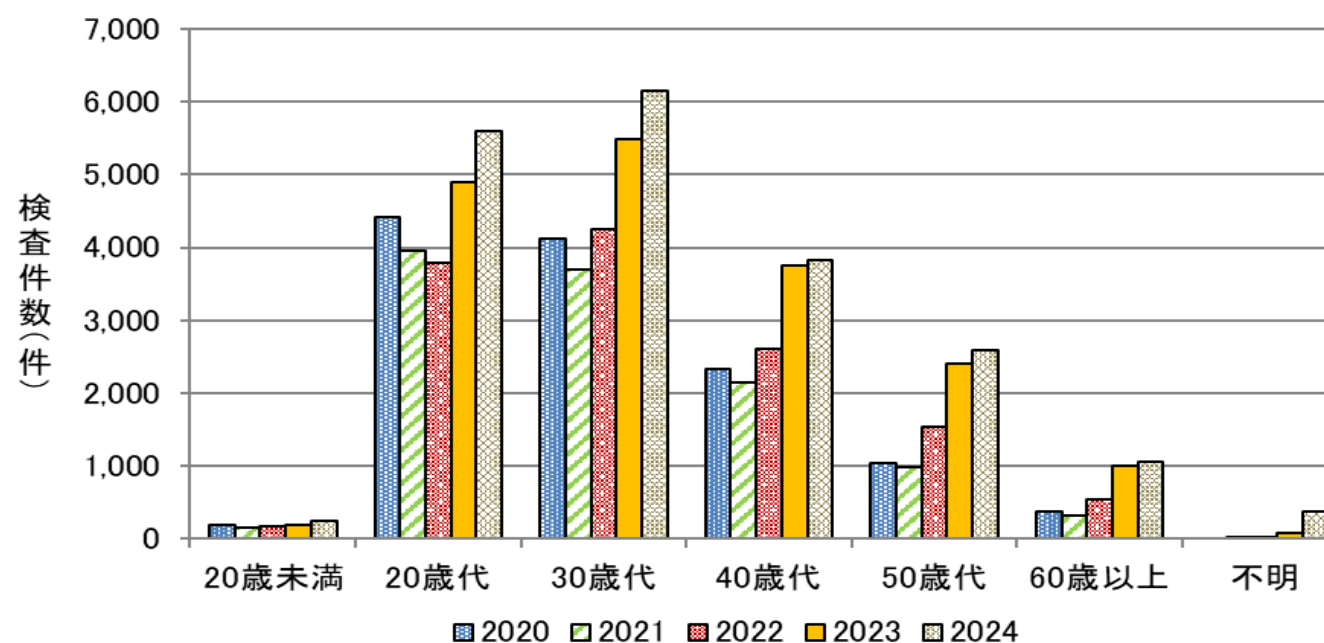
HIV検査における陽性率について、2024年は多摩地域検査相談室を除き、いずれの検査機関も前年より低下した。

(1)全体



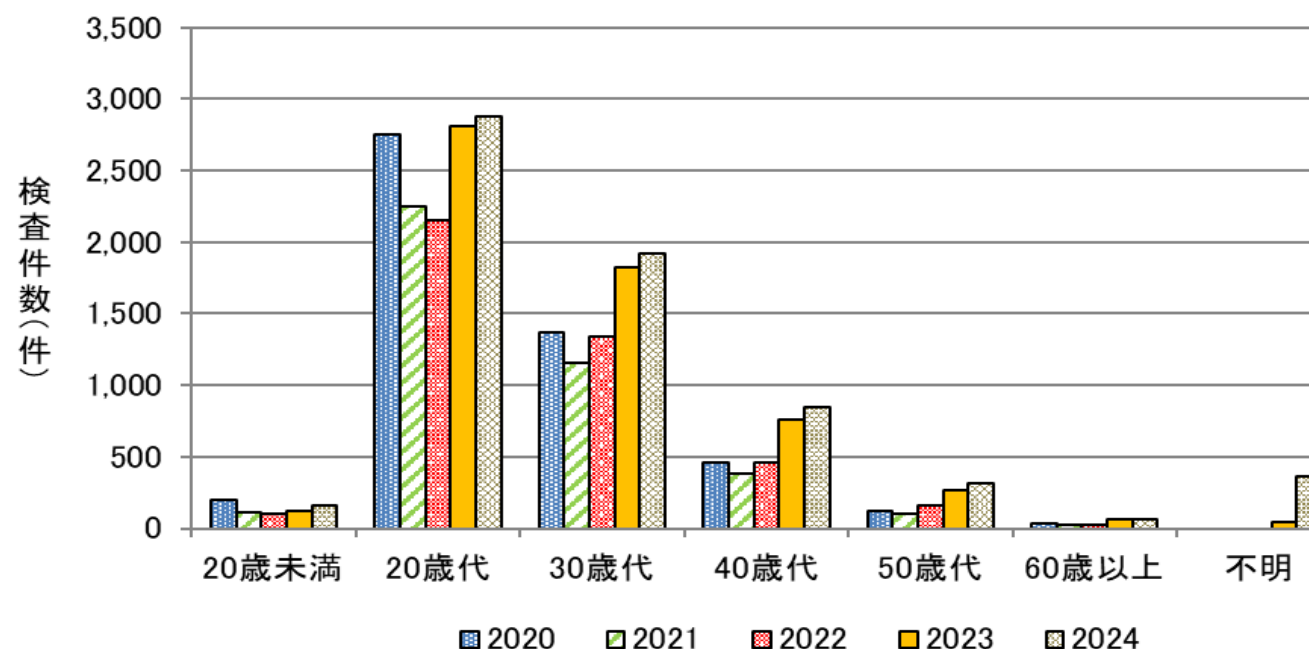
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明
2020	385	7,162	5,487	2,777	1,160	399	0
2021	254	6,207	4,842	2,526	1,085	342	3
2022	274	5,947	5,580	3,062	1,688	551	5
2023	306	7,707	7,318	4,511	2,674	1,054	123
2024	398	8,482	8,071	4,667	2,903	1,123	733

(2)男性



	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明
2020	190	4,407	4,116	2,320	1,042	367	0
2021	147	3,955	3,690	2,144	987	322	3
2022	170	3,792	4,243	2,607	1,525	527	5
2023	187	4,902	5,491	3,751	2,410	991	77
2024	238	5,602	6,149	3,821	2,585	1,060	371

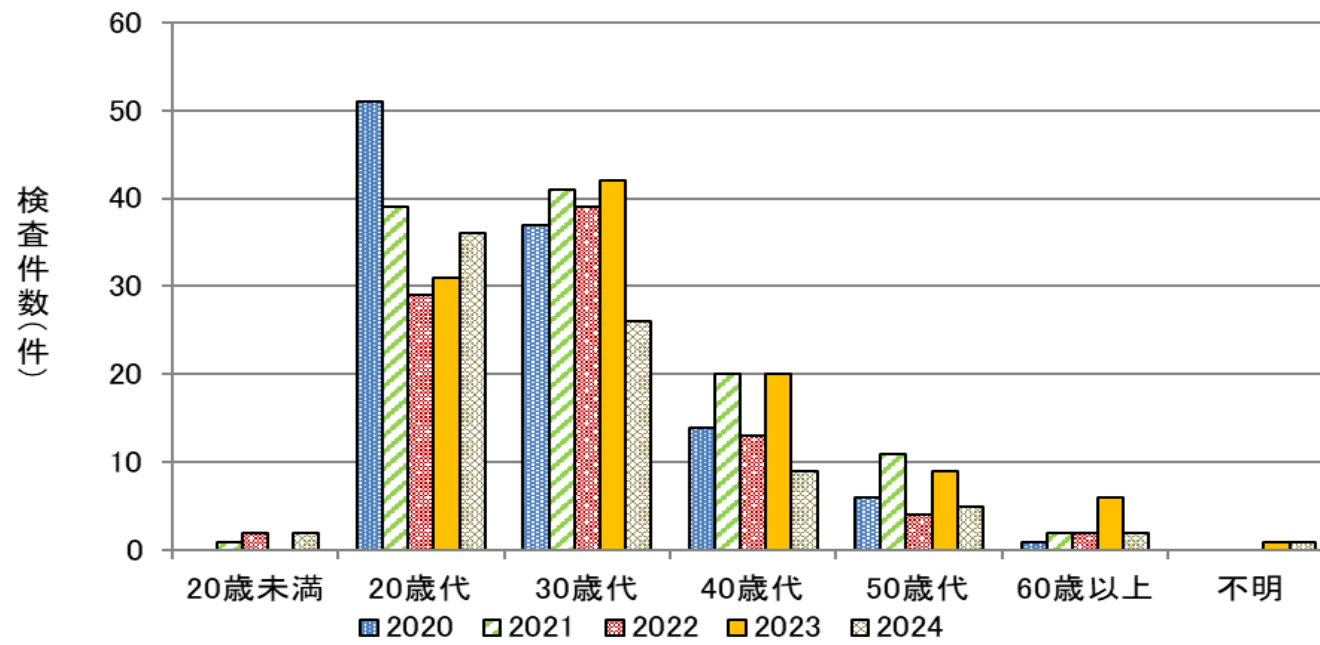
(3)女性



	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明
2020	195	2,755	1,371	457	118	32	0
2021	107	2,252	1,152	382	98	20	0
2022	104	2,155	1,337	455	163	24	0
2023	119	2,805	1,827	760	264	63	46
2024	160	2,880	1,922	846	318	63	362

年代別HIV検査件数について、過去5年を見ると男女共に20～30歳代が多く、いずれの年代も前年と同じもしくは前年より増加している。

2-9
年代別HIV
検査陽性者数
の年次推移

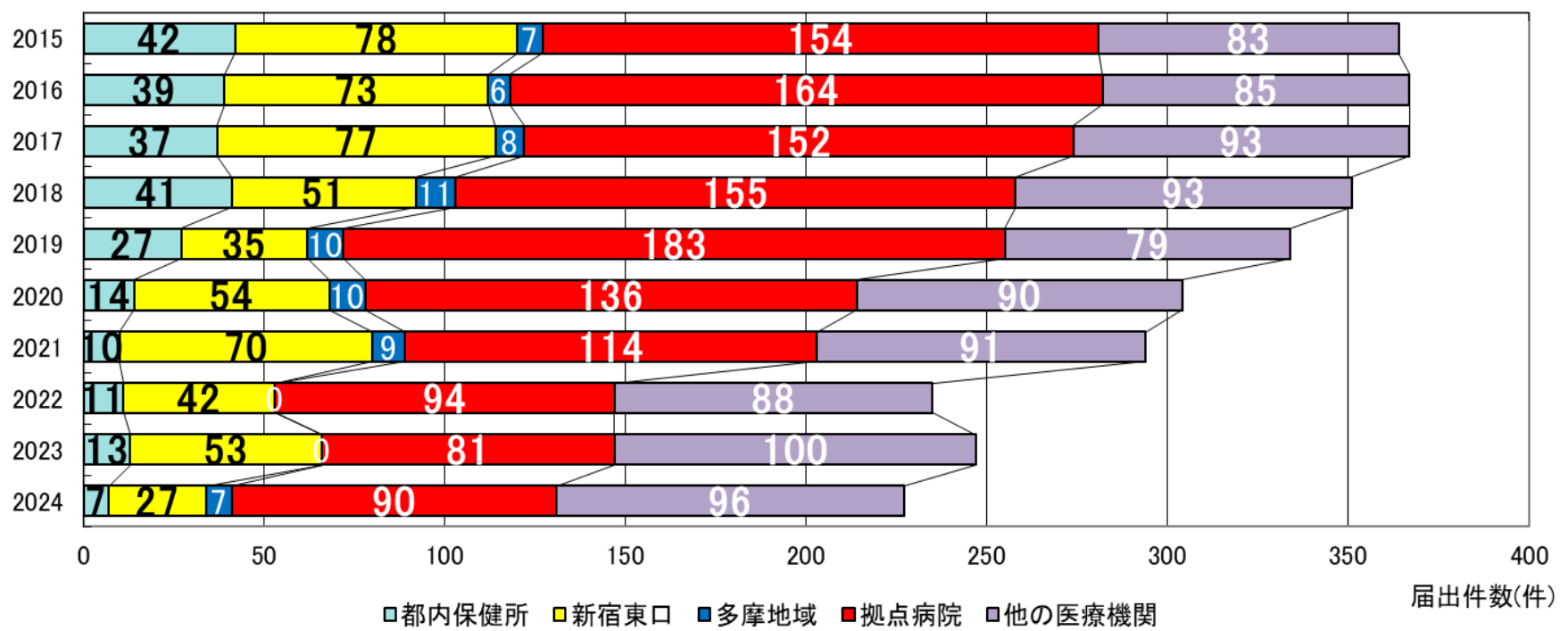


	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明
2020	0	51	37	14	6	1	0
2021	1	39	41	20	11	2	0
2022	2	29	39	13	4	2	0
2023	0	31	42	20	9	6	1
2024	2	36	26	9	5	2	1

年代別HIV検査陽性者数について、20歳代、30歳代で多くなっている。

[医療機関]

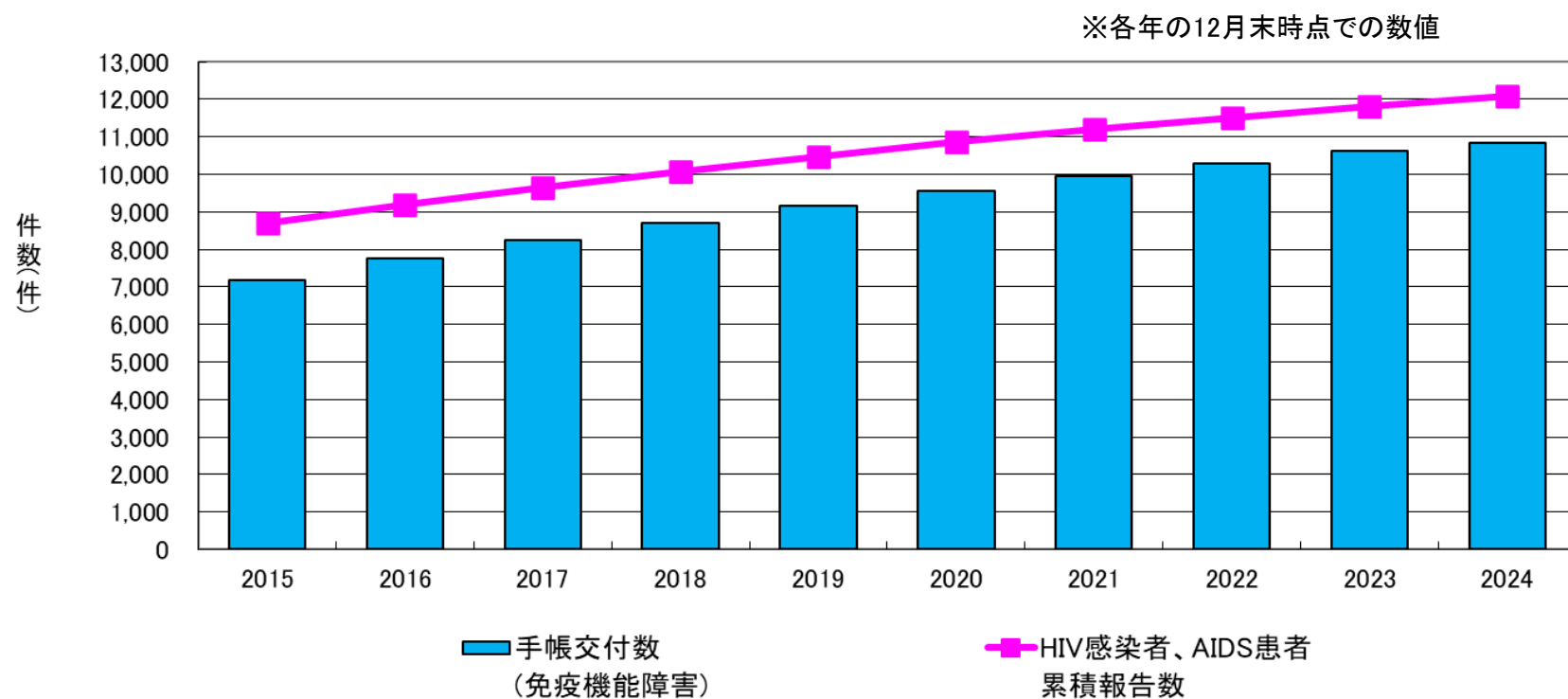
2-10
東京都の
新規HIV感染
者報告の
届出別割合



東京都の新規HIV感染者報告の届出別割合について、拠点病院及びその他の医療機関からの届出が多く、次いで新宿東口検査・相談室からの届出となっている。

[身体障害者手帳]

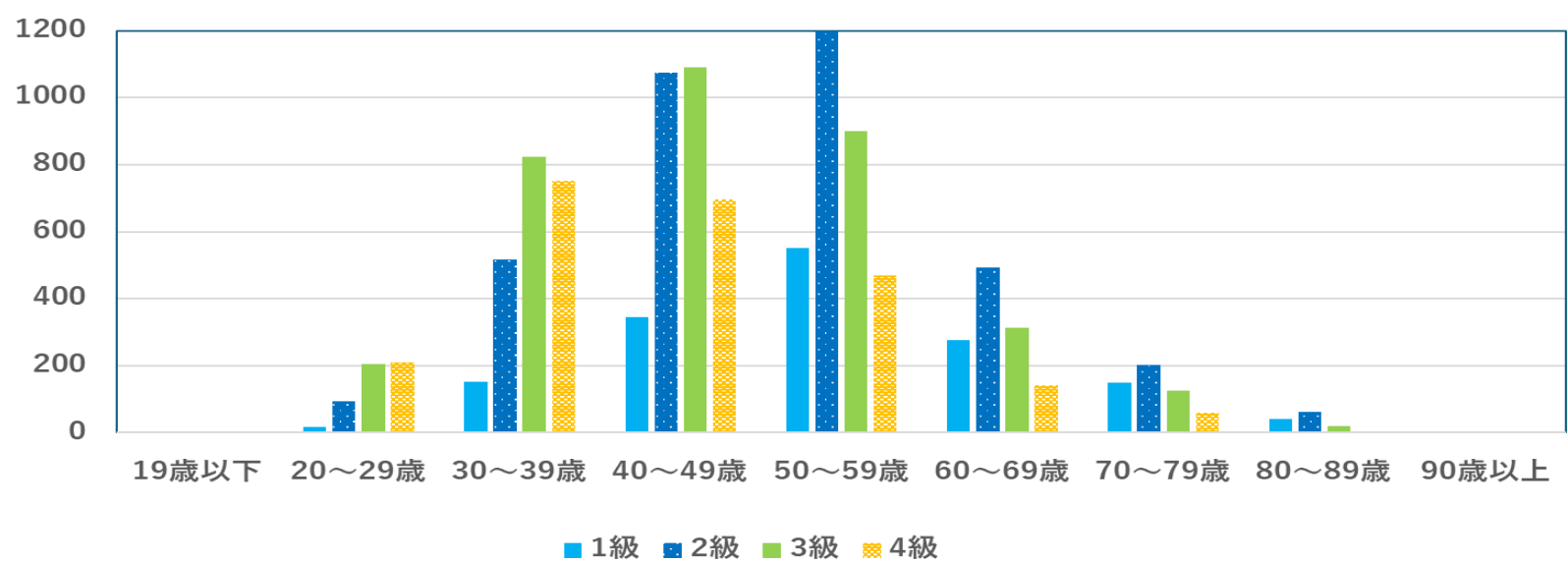
2-11
東京都の
身体障害者
手帳(免疫
機能障害)
交付数
年次推移と
HIV感染者、
AIDS患者
累積報告数



	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
手帳交付数(免疫機能障害)	7,190	7,742	8,256	8,702	9,156	9,566	9,956	10,284	10,636	11,006
HIV感染者、AIDS患者 累積報告数	8,717	9,181	9,645	10,067	10,473	10,856	11,213	11,501	11,803	12,092

東京都の身体障害者手帳(免疫機能障害)交付数について、HIV感染者、AIDS患者累積報告数の増加とともに、手帳交付数も年々増加している。2024年の身体障害者手帳の交付数は、前年に比べ370件増加し11,006件であった。

2-12
東京都の
身体障害者
手帳(免疫
機能障害)
年代別、等
級別交付数



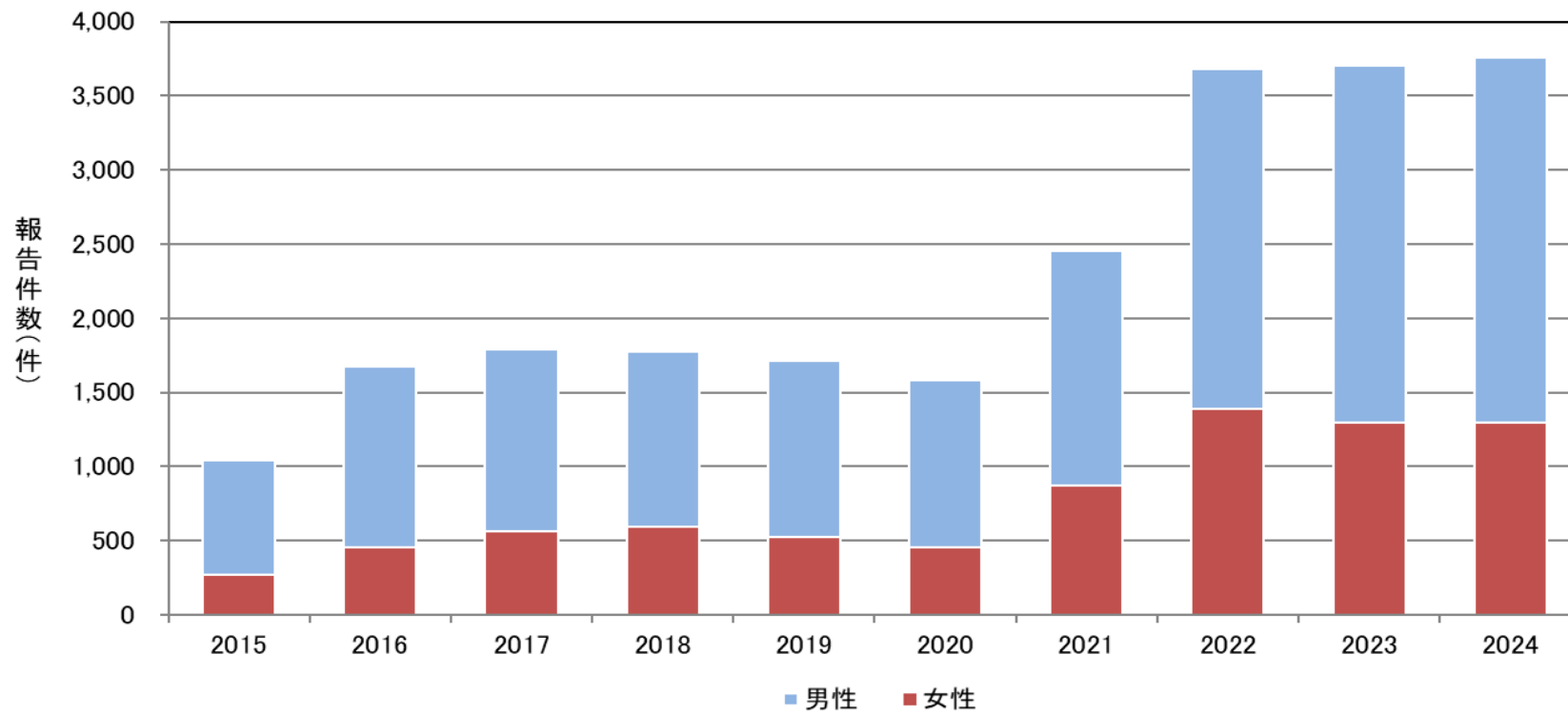
等級	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合計
1級	0	16	152	346	552	276	148	42	2	1,534
2級	0	94	517	1,074	1,200	494	202	62	1	3,644
3級	3	206	824	1,090	901	313	126	20	3	3,486
4級	2	209	752	698	470	141	60	4	3	2,339
合計	5	525	2,245	3,208	3,123	1,224	536	128	9	11,003

東京都の身体障害者手帳(免疫機能障害)年代別、等級別交付数について、1級・2級が最も多いのは50歳代(36%)で、次いで40歳代(22.6%)と続く。70歳以上では、1級は192件(12.5%)、2級は265件(7.3%)が取得している。

Ⅲ 東京都の梅毒患者の発生動向

[梅毒患者]

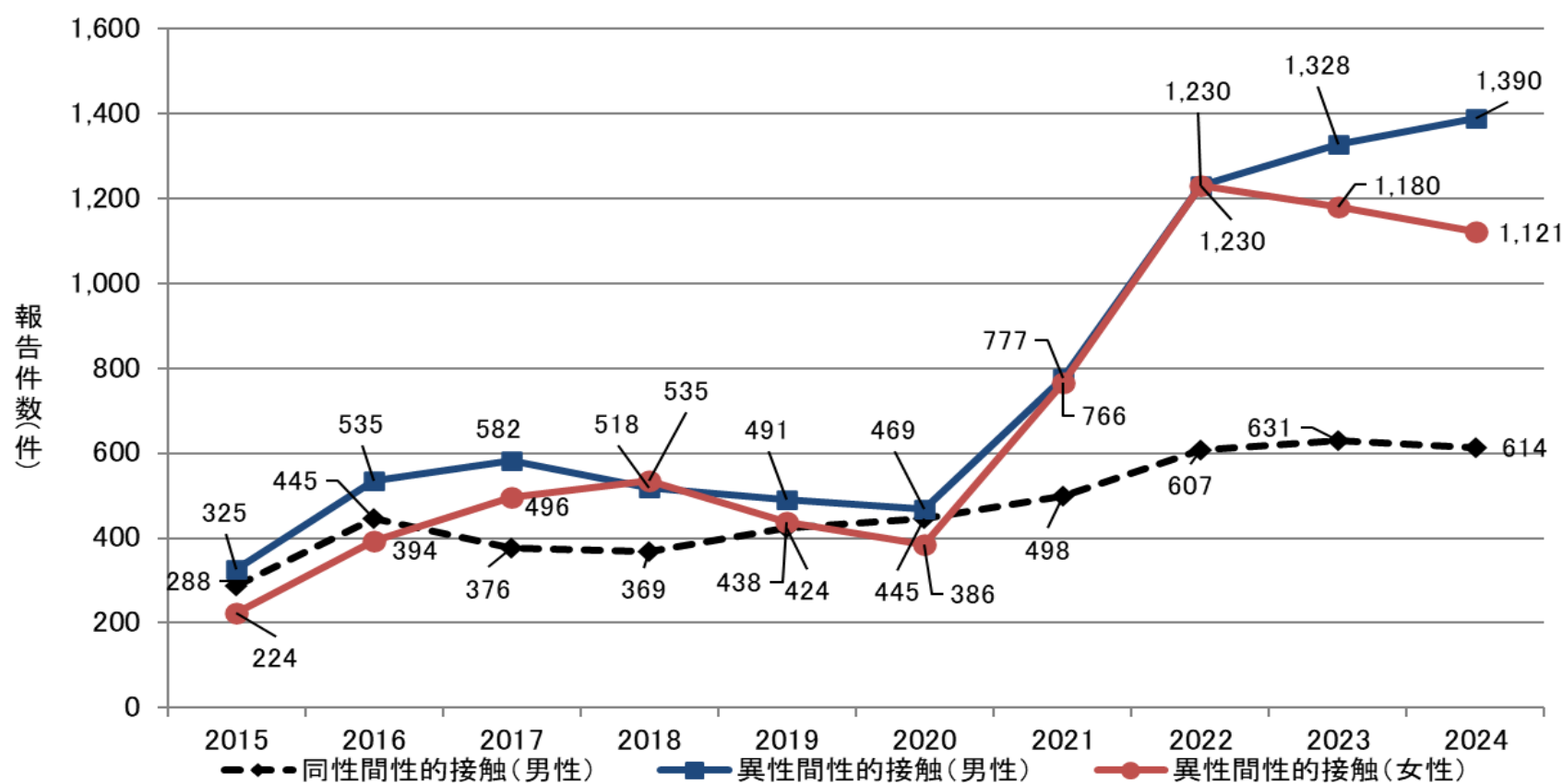
3-1
梅毒患者
報告数の
年次推移



	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
男性	773	1,218	1,229	1,180	1,189	1,125	1,577	2,291	2,409	2,462
女性	271	455	559	595	523	454	874	1,386	1,292	1,298
合計	1,044	1,673	1,788	1,775	1,712	1,579	2,451	3,677	3,701	3,760

梅毒患者の報告数について、2024年は前年より59件増加し3,760件と4年連続で増加している。報告数全体に占める男性の割合は65.5%と男性が3分の2を占める状況が続いている。

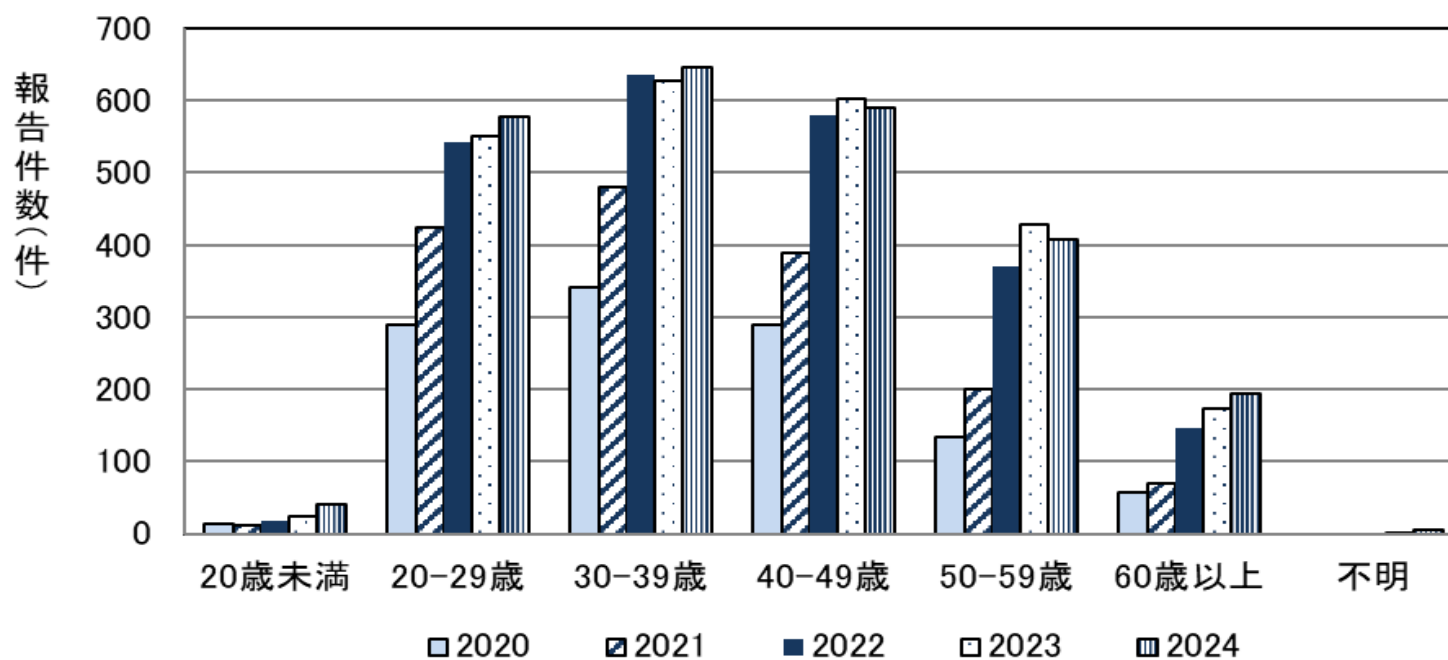
3-2
梅毒患者
推定感染
経路別
報告数の
年次推移



梅毒患者推定感染経路別報告数について、異性間性的接触が多い状況が続いており、男性は前年より62件増加し1,390件、女性は59件減少し1,121件であった。

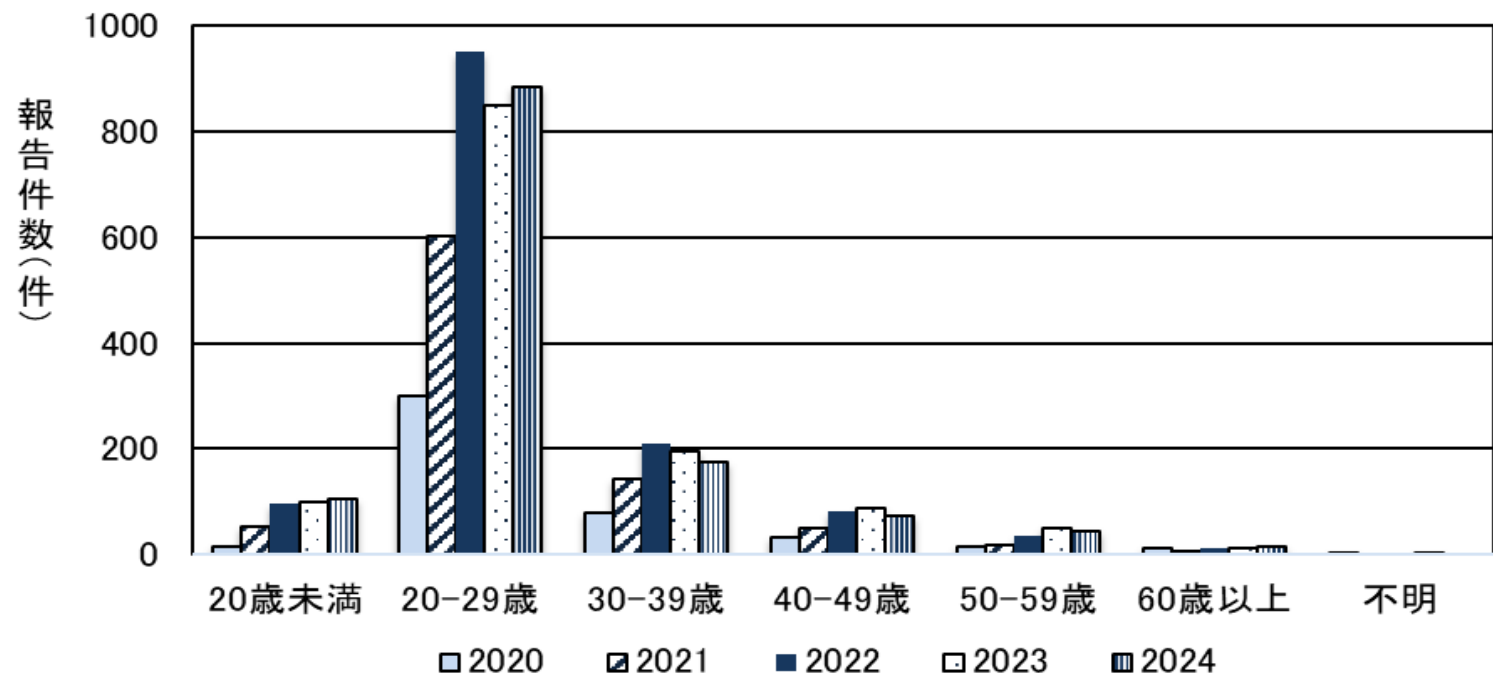
3-3
梅毒患者
性別・年齢別
報告数の
年次推移

(1) 男性



	20歳未満	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	不明
2020	14	289	341	290	133	58	0
2021	12	425	481	388	201	70	0
2022	17	543	635	579	370	147	0
2023	25	551	627	603	428	173	2
2024	41	577	647	590	408	194	5

(2) 女性

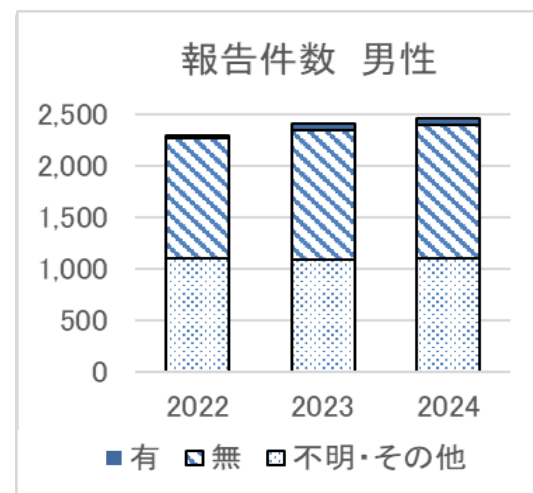


	20歳未満	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	不明
2020	15	300	78	32	16	12	1
2021	54	603	143	50	17	7	0
2022	96	951	209	81	36	13	0
2023	99	850	194	88	49	11	1
2024	104	886	175	72	45	16	0

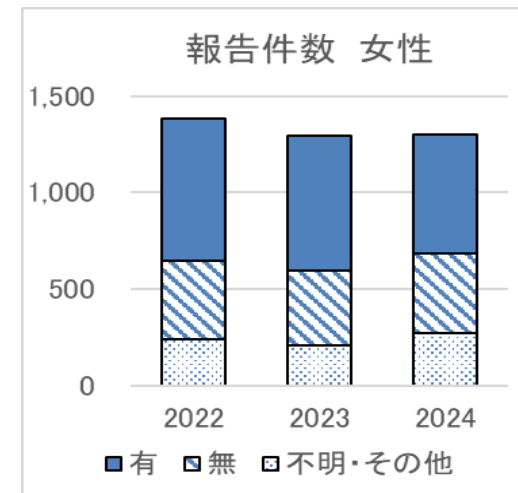
梅毒患者の性別・年齢別報告数について、男性は20～50歳代に多く、女性は20歳代が突出して多い傾向が続いている。2024年では、男性は40歳代と50歳代以外の年齢層で増加し、女性は30歳未満と60歳以上で増加した。

3-4
梅毒患者
感染原因・感
染経路として
性風俗産業
従事歴の有
無(直近6か
月)
(報告件数・
割合)

(1) 性別報告件数

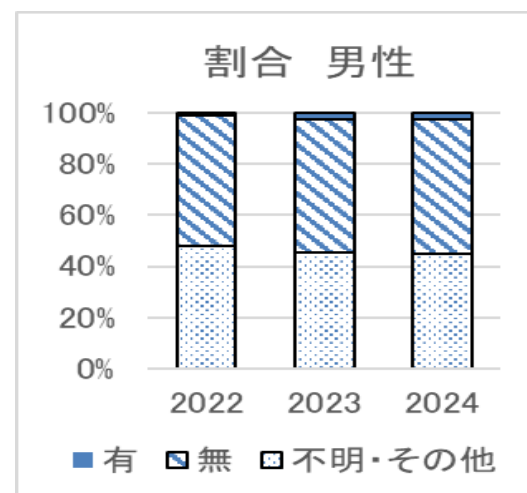


	2022	2023	2024
有	29	60	63
無	1,158	1,260	1,296
不明・その他	1,104	1,089	1,103

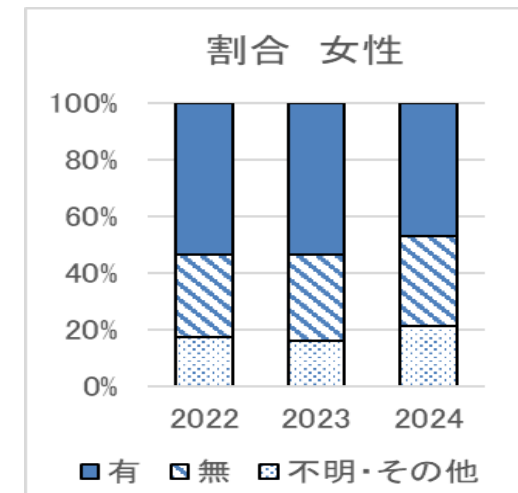


	2022	2023	2024
有	739	693	610
無	404	391	413
不明・その他	243	208	275

(2) 性別割合



	2022	2023	2024
有	1.3%	2.5%	2.6%
無	50.5%	52.3%	52.6%
不明・その他	48.2%	45.2%	44.8%

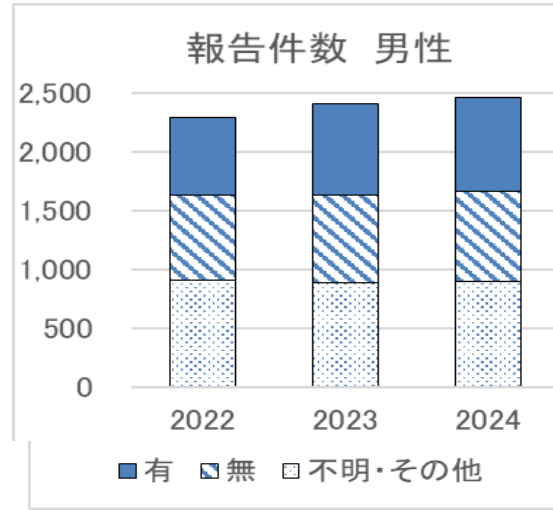


	2022	2023	2024
有	53.3%	53.6%	47.0%
無	29.1%	30.3%	31.8%
不明・その他	17.6%	16.1%	21.2%

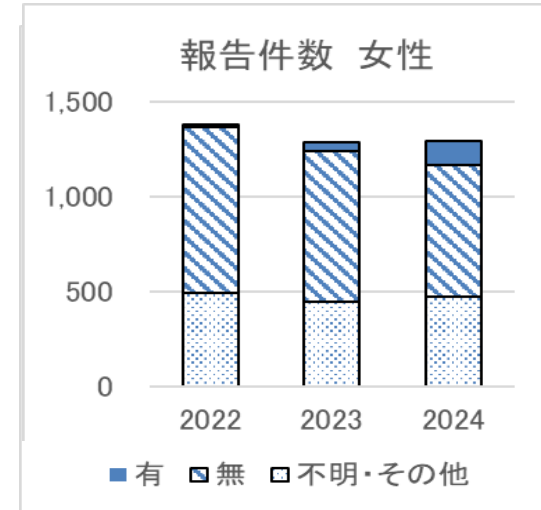
梅毒患者における感染原因・感染経路としての性風俗産業従事歴の有無について、2024年の男性の従事歴有は2.6%と前年とほぼ変わらず少ないが、女性の従事歴有は47.0%と前年より6.6ポイント減少したものの依然として多い。

3-5
梅毒患者
感染原因・感
染経路として
性風俗産業
利用歴の有
無(直近6か
月)
(報告件数・
割合)

(1) 性別報告件数

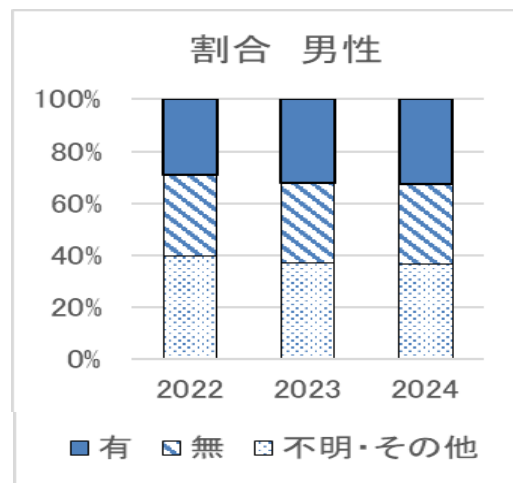


	2022	2023	2024
有	663	777	798
無	721	741	762
不明・その他	907	891	902

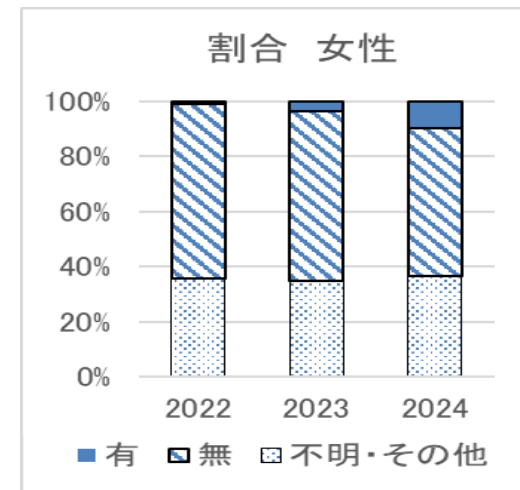


	2022	2023	2024
有	14	46	127
無	876	795	697
不明・その他	496	451	474

(2) 性別割合



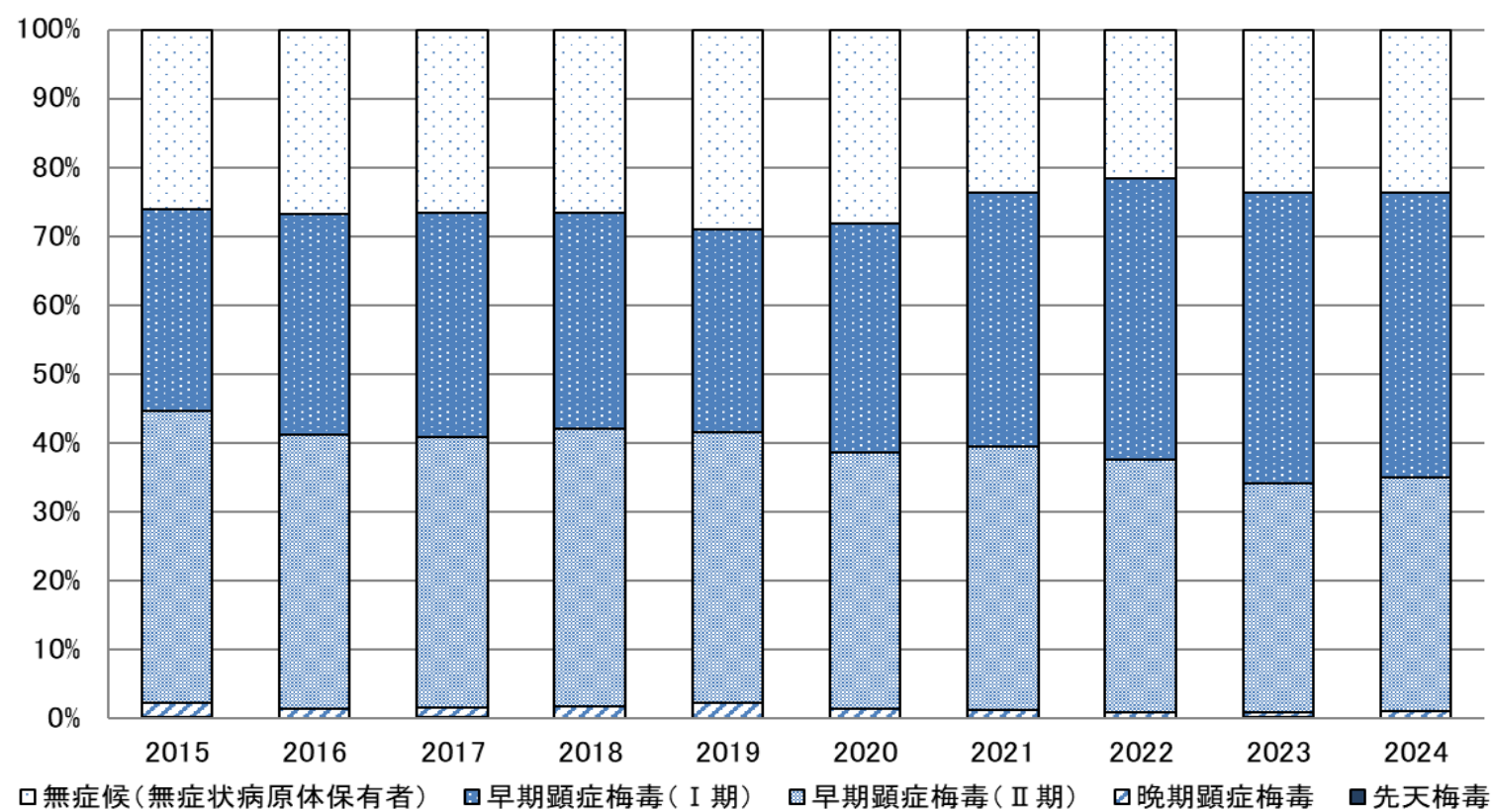
	2022	2023	2024
有	28.9%	32.3%	32.4%
無	31.5%	30.8%	31.0%
不明・その他	39.6%	37.0%	36.6%



	2022	2023	2024
有	1.0%	3.6%	9.8%
無	63.2%	61.5%	53.7%
不明・その他	35.8%	34.9%	36.5%

梅毒患者における感染原因・感染経路としての性風俗産業利用歴の有無について、2024年の男性の利用歴有は32.4%と前年同様で、女性の利用歴有は9.8%と前年より6.2ポイント増えている。

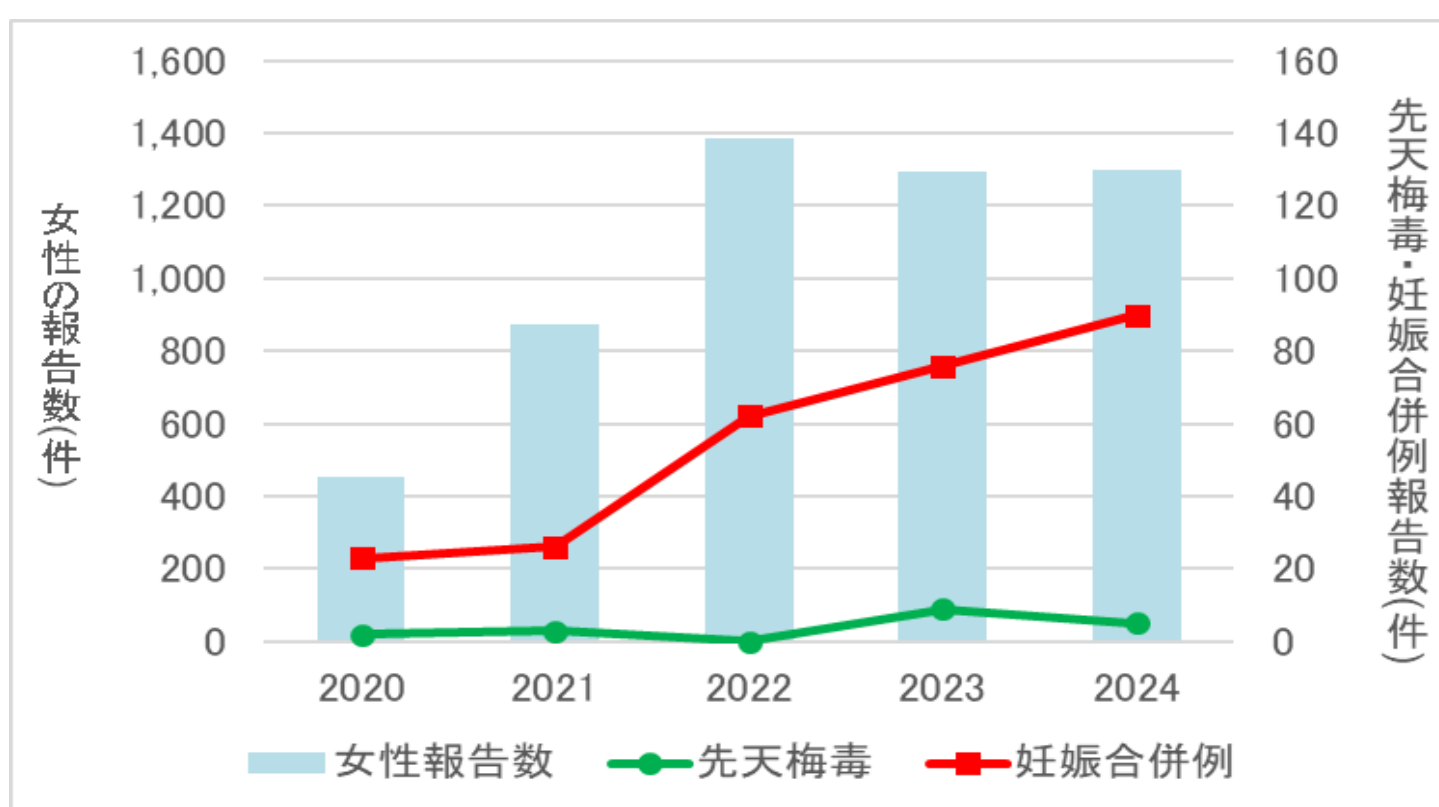
3-6
梅毒の
病型別患者
報告数の
年次推移



	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
無症候(無症状病原体保有者)	273	449	474	472	497	445	578	797	875	887
早期顕症梅毒(I期)	304	535	584	555	504	525	903	1,496	1,564	1,554
早期顕症梅毒(II期)	443	664	700	717	671	585	939	1,351	1,228	1,280
晩期顕症梅毒	22	23	26	30	40	22	28	33	25	34
先天梅毒	2	2	4	1	0	2	3	0	9	5

梅毒の病型別患者報告数について、2024年は無症候、早期顕症梅毒(II期)、晩期の報告数が前年より増加した。早期顕症梅毒(I期)は前年より10件減少したものの1,554件であり、依然として多い。先天梅毒は前年より4件減少し5件であった。

3-7
 女性の梅毒患者報告数
 と先天梅毒・
 妊娠合併例
 報告数の
 年次推移

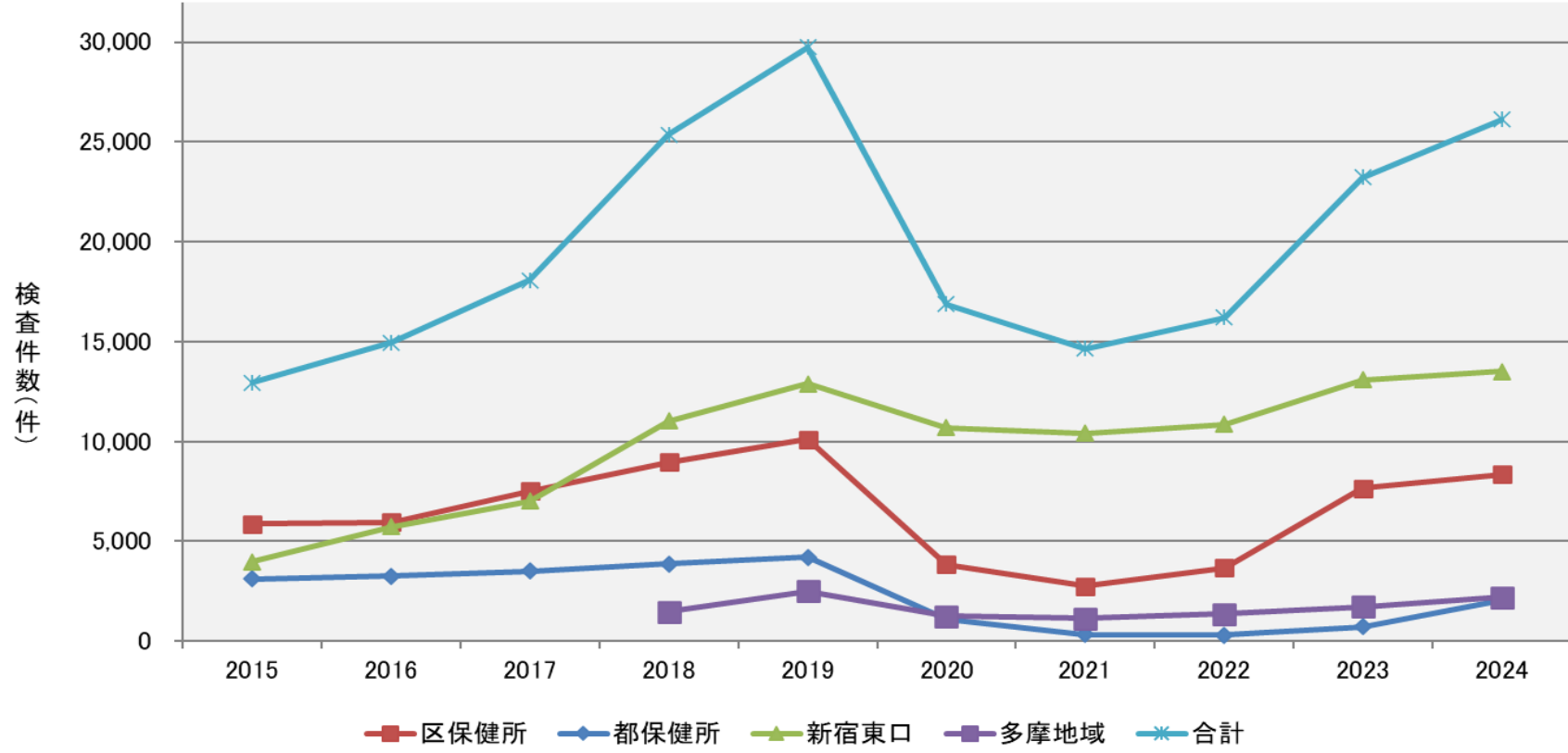


	2020	2021	2022	2023	2024
女性報告数	454	874	1,386	1,292	1,298
妊娠合併例	23	26	62	76	90
先天梅毒	2	3	0	9	5

女性の梅毒患者報告数と先天梅毒・妊娠合併例報告数について、2024年の女性報告数は前年より6件増加し1,298件、妊娠合併例は14件増加し90件と5年間で約4倍に急増、先天梅毒は4件減少し5件であった。

IV 東京都の梅毒検査数

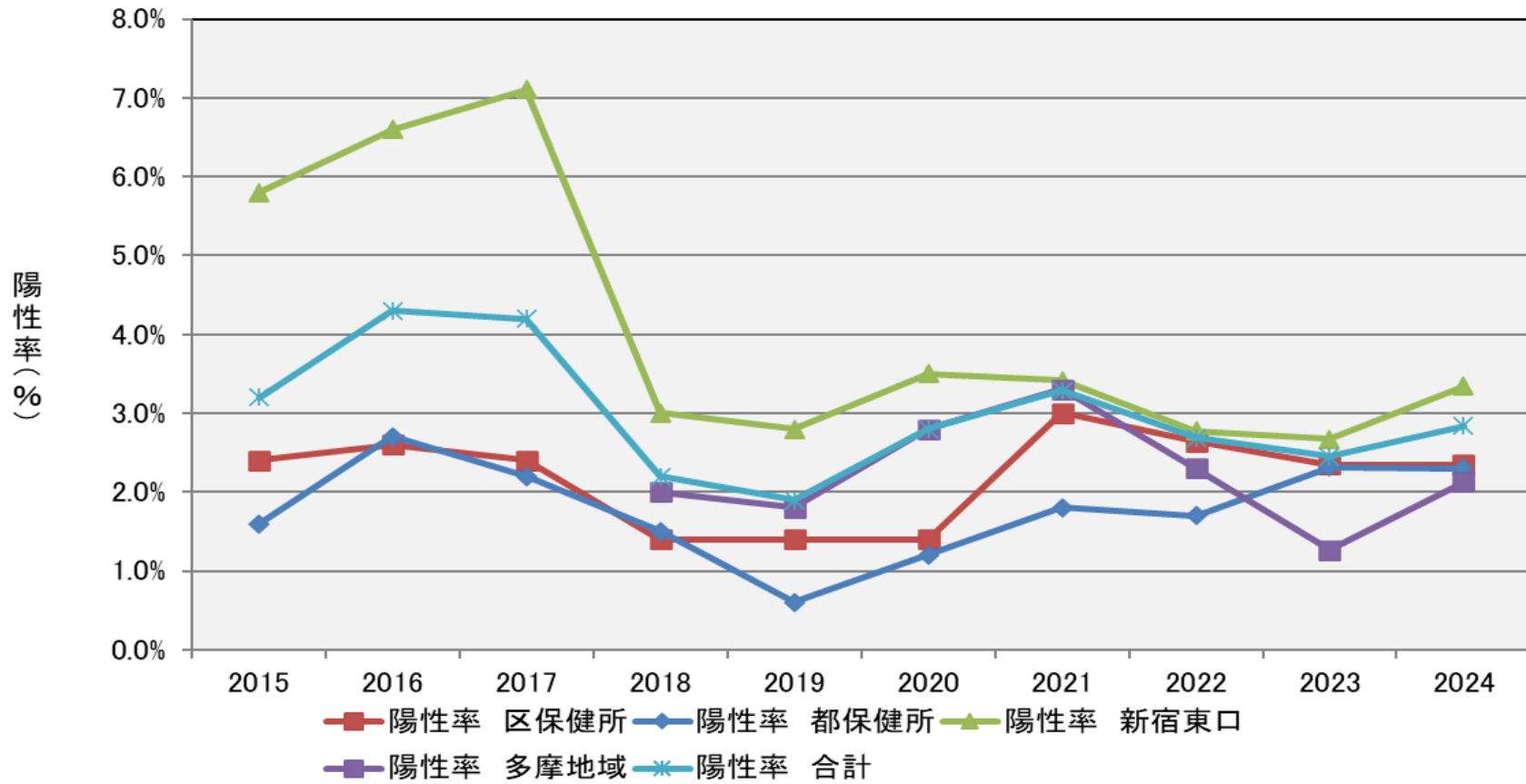
4-1
梅毒
検査件数
年次推移



	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
区保健所	5,864	5,950	7,530	8,978	10,115	3,843	2,751	3,673	7,667	8,357
都保健所	3,111	3,263	3,513	3,859	4,217	1,095	334	298	735	2,041
新宿東口	3,985	5,747	7,018	11,037	12,897	10,691	10,427	10,870	13,081	13,501
多摩地域	—	—	—	1,489	2,498	1,249	1,143	1,362	1,737	2,207
合計	12,960	14,960	18,061	25,363	29,727	16,878	14,655	16,203	23,220	26,106

梅毒検査件数について、2024年の合計数は前年より2,886件増加し26,106件であった。特に都保健所は前年の約3倍となった。都の検査・相談室(新宿東口、多摩地域)は890件増加し15,708件となった。2024年の合計数は、この10年間で最も多かった2019年と比較し87.8%まで回復した。

4-2
梅毒検査に
おける
陽性件数・陽性率
年次推移



		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
陽性率	区保健所	2.4%	2.6%	2.4%	1.4%	1.4%	1.4%	3.0%	2.6%	2.3%	2.3%
	都保健所	1.6%	2.7%	2.2%	1.5%	0.6%	1.2%	1.8%	1.7%	2.3%	2.3%
	新宿東口	5.8%	6.6%	7.1%	3.0%	2.8%	3.5%	3.4%	2.8%	2.7%	3.3%
	多摩地域	—	—	—	2.0%	1.8%	2.8%	3.3%	2.3%	1.3%	2.1%
	合計	3.2%	4.3%	4.2%	2.2%	1.9%	2.8%	3.3%	2.7%	2.5%	2.8%
陽性件数	区保健所	142	156	178	124	140	55	82	97	180	196
	都保健所	49	88	79	59	24	13	6	5	17	47
	新宿東口	230	381	500	335	359	375	356	302	350	451
	多摩地域	—	—	—	30	44	35	38	31	22	47
	合計	421	625	757	548	567	478	482	435	569	741

梅毒検査における陽性率について、区保健所・都保健所ともに2.3%と増減なし、新宿東口検査・相談室は3.3%で前年比0.6ポイント増、多摩地域検査・相談室は2.1%で前年比0.8ポイント増であった。陽性数について、区保健所は196件とこの10年間で最多を更新、ほかも全て前年を上回り、都保健所は30件増加し47件、新宿東口検査・相談室は101件増加し451件、多摩地域検査・相談室は25件増加し47件だった。全体では172件増加し741件であった。

V 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数

○世界のHIV/AIDS流行状況 2024年末現在 (UNAIDS/WHO)

HIV 感染者数(推計値)

4,080 万人(3,700 万~4,560 万人)

2024年における新規HIV 感染者数 (推計値)

130万人(100 万~170 万人)

2024年におけるAIDS による死亡者数 (推計値)

63 万人(49万~82万人)

実際の数値は推計値の右側 () 内に記載された数値の範囲内に存在する。
これらの数値は入手可能な最良のデータを基にして算出されている。

○日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2024年末現在(厚生労働省)

HIV感染者報告の累計数 25,194 件

AIDS患者報告の累計数 11,181 件

《検査は匿名・無料》

★東京都新宿東口検査・相談室 HIV通常検査(予約制)
HIV検査と同時に梅毒検査も実施しています。

新宿東口検査・相談室
の詳細



所在地:新宿区歌舞伎町2-46-3 SIL新宿ビル2階

開室時間: 月~金曜日(祝日を除く) 15:00 ~20:00

土・日曜日(祝日を除く) 13:00 ~17:00

※毎週水曜日は、女性のための検査日です。

※6/1~6/30及び11/16~12/15は、希望者には性器クラミジア・淋菌同時検査を実施します。

(尿検査のため、検査日の前日までに尿採取セットの受け取りが必要です。)

★東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査(予約制)
HIV検査と同時に梅毒検査も実施しています。

多摩地域検査・相談室
の詳細



所在地:立川市柴崎町2-21-19 東京都立川福祉保健庁舎内2階

検査受付時間: 土曜日・日曜日(祝日を除く) 9:50~11:00

問い合わせ先: 090-2537-2906 (平日:9:30~17:00、土・日:9:30~15:00)

※判定保留の場合は原則1週間後に検査結果を通知します。

★東京都HIV等検査予約サイト

新宿東口検査・相談室、多摩地域検査・相談室のほか、
多摩地域の都保健所の検査が予約できます。

<https://yoyaku.metro.tokyo.lg.jp/>

※インターネット予約
(24時間)



★東京都HIV等検査予約センター

新宿東口検査・相談室、多摩地域検査・相談室のほか、
多摩地域の都保健所の検査が予約できます。

予約電話番号(東京都HIV等検査予約センター): 050-3801-5309

電話予約受付時間: 10:00~20:00(年末年始を除く)

★東京都HIV検査情報Web

都内の保健所、検査・相談室で受けられるHIV検査や他の性感染症検査の
情報が載っています。

<https://tokyo-kensa.metro.tokyo.lg.jp/>

東京都HIV検査情報Web



★東京都HIV/エイズ電話相談

電話: 03-3227-3335 (月~金:12:00~21:00、土・日・祝日:14:00~17:00)

★HIV/エイズに関する相談・検査(匿名・無料)は各保健所へ

【発行】東京都保健医療局感染症対策部
防疫課エイズ対策担当
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-4487